

ISSN 1343-439X

全日本大学ソフトボール連盟機関誌

ウインドミル

創刊号



全日本大学ソフトボール連盟

驚異の飛び、 日本上陸。

中国をはじめ、各国の選手が国際大会で、
数多くのホームランを叩き出した飛びの秘密兵器。
MS96、ついに日本初登場。

- 高強度アルミ合金「C405」の採用により、
一段と軽量のバット設計が可能に
- 日本初「ダブルウォール構造」がもたらす
トランボリン効果が、さらなる高反発力と
打球の伸びを実現



●ダブルウォール構造

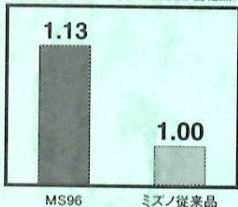
- 国内トップ選手による実打テストで、
高い評価と信頼を得ています

【選手のコメント】

- ヘッドが走り、打点位置が近くてもさばける。明らかに飛距離が伸びた。
- 打球、飛距離が凄い。ボールが運べる感じがする。
- 弾きが抜群。バットがしなり、ボールとの接触時間も長く感じる。
- 今まで練習でも構越えたことないのにフェンスオーバーが出た。
- 打球の伸びを初めて感じた。詰まっても外野まで届く。

●性能比較テスト結果

(反発係数(ミズノ法)による比較/当社品)



BWL LEAGUE

〈ビュリーク〉MS96

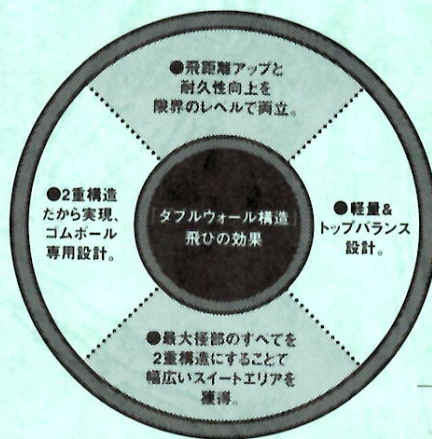
2TO-79030 (83cm・平均690g)

2TO-79040 (84cm・平均700g)

2TO-79050 (85cm・平均710g)

¥38,000

■C405 ■φ57mm ■セミボトル型 ■グリーン(35)
■ゴムボール用 ■検定3号 ■アメリカ製

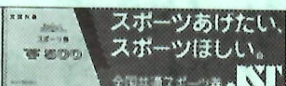


NAGANO
1998



©1998 MIZUNO. THE NAME IS MIZUNO

GOLD
SPONSORS



●ミズノ・インターネット情報は <http://www.mizuno.co.jp>
●記載価格はすべて税抜き価格です。消費税相当額はお客様に負担いただくことになります。
●ミズノ製品についてのお問い合わせ・ご相談は「ミズノお客様相談センター」
東京 TEL.(03)3233-7110 FAX.(03)3233-7217 大阪 TEL.(06)614-8110 FAX.(06)614-8463



全日本大学ソフトボール連盟

「ウインドミル」創刊にあたって

全日本大学ソフトボール連盟

会長 大 内 敬 哉



今般、全日本大学ソフトボール連盟として、最初の機関誌「ウインドミル」が発刊されることになり、誠にうれしく思う次第であります。こ

の編集にあたり、ご尽力を賜りました編集委員の水谷博先生（中京女子大学）と山本英弘先生（朝日大学）始め、関係各位に対し、心よりお礼申し上げます。

さて、皆さんご承知の通り、ソフトボールは国民的スポーツとして最も愛好されているものです。その競技人口は正確に把握することはできませんが、少年少女から社会人はもとより、ねんりんピックの種目に含まれているように高齢者まで、層の厚さには驚歎いたします。我々大学のソフトボールは、その本分である学業とソフトボールを両立すべき努力をしなければなりません。立派なマナーを身に付け、ルールを厳守し、秀れた技術を磨き、からだを鍛え、社会の発展に寄与するものでなければなりません。

さらに、「ウインドミル」の創刊により、全日本大学ソフトボール連盟の活動を記録に留めるとともに、ソフトボールに関する情報や研究論文を発信することもできるようになりました。これらが今後のソフトボール界の発展に貢献されることを希望し、創刊の辞といたします。

目 次

「ウインドミル」創刊にあたって	会 長 大内敬哉	1
平成9年度の事業報告と今後の課題	理事長 末井健作	3
文部大臣杯第32回全日本大学ソフトボール選手権大会結果		4
第24回全日本大学男子・女子ソフトボール東西対抗結果		6
第3回全日本女子短期大学ソフトボール大会結果		8
第12回東日本大学ソフトボール選手権大会結果		10
第29回西日本大学ソフトボール選手権大会結果		12
各地の大会・リーグ戦結果	北海道・東北地区 ... 春季大会	14
	秋季大会	16
	関東地区 春季大会	17
	北信越地区 秋季大会	19
	東京地区 春季大会	20
	秋季大会	23
	東海地区 春季大会	25
	秋季大会	29
	関西地区 春季大会	32
	秋季大会	37
	中国地区 春季大会	40
	四国地区 春季大会	42
	秋季大会	46
	九州地区 春季大会	48
第49回全日本総合男子選手権大会結果		50
第49回全日本総合女子選手権大会結果		51
ニュージーランド遠征男子選抜チーム		52
全日本大学ソフトボール連盟役員名簿		53
全日本大学ソフトボール連盟学生委員名簿		56
平成9年度加盟大学一覧		57
編集後記		59

平成9年度の事業報告と今後の課題

全日本大学ソフトボール連盟

理事長 末 井 健 作

平成9年度本連盟の事業は、8月の文部大臣杯第32回全日本大学ソフトボール選手権大会（鹿児島県、桜島溶岩グラウンド）及び第3回全日本女子短期大学ソフトボール大会（東京、日本体育大学グラウンド）、11月の第24回東西対抗（滋賀県長浜ドーム）と関係各位のご協力をいただき無事に終了することができました。また、後援いたしました東日本、西日本大学選手権大会も成功裡に終わられています。大会運営にご尽力を賜りました多くの皆様に厚くお礼申し上げます。

大会運営に関する反省点としては、全日本大学選手権大会において雨天の際の中止及び順延等の決定を迅速に、しかも的確に判断することが求められましたが、それらをスムーズに行うために、今後、日本ソフトボール協会及び主管協会の皆様と、運営面においてもさらに連携を強化することが重要であると考えます。

全日本女子短期大学大会は東京都学連、東西対抗は関西学連の学生委員を中心に大会運営がなされ、着実にその成果を上げ各方面から高い評価を得ていますが、さらに広報活動及び内容等を検討し、さらなる発展をさせていただきたいと思えます。

最近、男子の試合において大学生としての品位に欠ける態度が見受けられるようです。選手の皆さんは、見ておられる多くの人たちに感動を与える品位ある、そして、気迫溢れる素晴らしいプレイを示してください。

大学連盟の運営面の問題点としては、チーム及び選手登録者数を如何にして増やしていくか、また、広報活動の強化及び学生役員の活動等に積極的に取り組まなければならないと考えています。

本年度最後の事業となります男子初の海外遠征、ニュージーランド遠征は着々と準備が進められ、その成果が大いに期待されています。ソフトボールを通じて国際交流を深め、日本から文化の発信をしていきたいと思えます。

平成10年度の事業がさらに充実した内容で実施出来ますよう、皆様の絶大なるご協力をお願い申し上げます。

文部大臣杯第32回全日本大学（男女）ソフトボール選手権大会結果

主催：（財）日本ソフトボール協会・全日本大学ソフトボール連盟

主管：鹿児島県ソフトボール協会

後援：文部省・鹿児島県教育委員会・鹿児島県体育協会・桜島町・南日本新聞社・

MBC南日本放送・KTS鹿児島テレビ・KKB鹿児島テレビ・KYT鹿児島読売テレビ

期日：平成9年8月8日～8月10日

会場：鹿児島県桜島町・桜島溶岩グラウンド

大会概要

台風11号の余波を受けて初日は風、二日目三日目は雨にたたられた大会であったが、フェンスを移動して新たに会場を設営するなど地元関係者の汗と灰まみれのご尽力によって何とか終了することができた。決勝戦は、女子が東京対決・男子は東西対抗の形となったが、総合力に優る日本体育大学がともに制し、10年ぶり9回目の男女アベック優勝を飾った。

女子の結果	8月8日	8月9日	8月10日	
日本女子体育大学		0		
新島学園女子短期大学	0	1x	0	
武庫川女子大学	1x	1x		
仙台大学	0	0	0	
鳥取女子短期大学	2		5x	
関西外国語大学		2		
淑徳大学		0		2
沖縄国際大学	0	3x	3x	
東京女子体育大学	1x		5	
国士舘大学	0	7		
東海女子大学	1	2		
龍谷大学		3		
九州女子大学		2		
中学京大	2x	1	1x	
習院大	0		0	
東海大	3	2		
徳島文理大	2		0	
大阪国際女子大		7		
東京学芸大		1		
中京女子大	9	7	1	
富山大学	0			
日本大学	0		10x	
園田学園女子大	19	1	11	
日本体育大		2		4

優勝 3年ぶり17回目
日本体育大学

悪条件のもとでも、随所に好プレーが見られ、熱戦が繰り広げられた。僅差のゲームが多かったのがそれを物語っている。ベスト8に残ったのは、東京2、東海2、関西3、九州1で、やや西高東低の傾向が認められたが、結局決勝に進出したのは、伝統の日本体育大学と東京女子体育大学であった。日体大は緒戦の園田女子大にやや苦戦したものの、順当な勝ち上がりであった。一方の東女体大は緒戦から苦戦の連続であったが、漆谷が要所を抑え、1年生平下の活躍が光った。決勝戦は、初回に先制した日体大に対し、東女体大もその裏またも平下の2点本塁打で逆転するものの、高山の7連続三振など総合力に優る日体大が4回に連続二塁打で追いつき、最終回に3連打でついに勝ち越して優勝を勝ち取った。（中京女子大学 水谷）

男子の結果

	8月8日	8月9日	8月10日	
立命館大学	4	3		
愛知学院大学	1			
大阪経済法科大学	2x	2		
長野大学	1	2		
龍谷大学	3	1	3	
東京理科大学	1		6x	
沖縄国際大学	6x	2		
筑波大学	5			
中央大学	0	7	1	
関西大学	4x		8	
福岡大学	4x	6	11x	
愛知大学	2			
慶応大学	0	18		
京都産業大学	7		1	
国士舘大学	2	5		
第一経済大学	1			
徳島大学	5	0		
東海大学	9x		4	
四国学院大学	0	4		
日本体育大学	18		7	
京都大学	3	3x		
熊本学園大学	4		3	
関東学園大学	5x	2		
鹿児島経済大学	1		4	
広島経済大学	1	1x		
仙台大学	14		5	
神戸学院大学	16	0		
福島大学	1		1	
広島修道大学	1	1		
中京大学	7x		9x	
早稲田大学	7x	3		
同志社大学	1			

優勝 6年ぶり
日本体育大学

悪天候のため会場を新たに設営しても2日目の準々決勝3試合が消化できず、最終日、決勝に勝ち上がった日本体育大学と関西大学は1日に3試合を戦うようになってしまった。その決勝戦も豪雨で1時間半の中断があったが、山岸の足で先制した関大に対し、原田の2点本塁打で勝ち越した日体大が、昨年の1回戦敗退という屈辱を晴らして優勝を決めた。なお、準優勝の関大は2回戦でも西日本の決勝戦で敗れた福岡大に6回から6点差を逆転するという健闘を見せた。(中京女子大学 水谷)

第24回全日本大学男子・女子ソフトボール東西対抗結果

主催：全日本大学ソフトボール連盟・滋賀県ソフトボール協会

主管：関西学生ソフトボール連盟

後援：日本ソフトボール協会・滋賀県・滋賀県教育委員会

期日：平成9年11月9日（日）

会場：滋賀県立長浜ドーム競技場

男子試合結果

東軍：0 0 0 0 0 2 0 0 0 | 2 (東) 門田・●横田・加藤一森・北見
西軍：0 0 1 0 0 2 2 0 x | 5 (西) 八巻・○西岡・田中一溝口・山岸・鳥海

東	軍	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回
(一)	6 斎藤(東海)	投ゴロ		三振			投バ失	2ゴロ		
(二)	4 田中(東海)	三振			投ゴロ					
	H4高橋(早大)						三振		2ゴロ	
(三)	8 工藤(国士)	三振			四球(塁上死)	中前安			三振	
(四)	3 佐藤(国士)		投ゴロ		三振					
	H3高杉(早大)						右飛		三振	
(五)	2 森(東海)		三振			三振				
	2 北見(早大)					三振				中前安
(六)	DH熊井(東海)		四球			遊ゴ失				
	HD沖出(東海)							2ゴ失		2ゴロ
(七)	5 郷司(中央)		三振			三振				
	5 佐野(早大)							三振		3ゴロ
(八)	9 河合(東海)			遊ゴロ		三振		1ゴ失		三振
(九)	7 吉本(東海)			三振			右前安	三振		

DH守備 1 門田(早大)・横田(中央)・加藤(東海)

西	軍	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回
(一)	7 石村(関西)	遊ゴ失		1犠バ		四球				
	H7川原(福岡)							投ゴ失	2ゴロ	
(二)	4 南風(福岡)	三振		遊ゴロ		投飛				
	4 関根(中京)							四球	死球(盗塁死)	
(三)	8 伊藤(福岡)	2ゴロ		投ゴ失		遊ゴロ				
	8 板垣(中京)							遊ゴロ		
(四)	6 森尾(福岡)	遊ゴロ		三振			右前安	3ゴロ		
(五)	DH行方(立命)		四球(塁上死)	右飛			投強安	四球		
(六)	2 溝口(福岡)		三振		3ゴロ					
	5 田辺(関西)						遊ゴ失	中前安		
(七)	52山岸(関西)		捕前安		左飛		(塁上死)			
	H2鳥海(中京)						四球	3ゴロ		
(八)	3 仲里(福岡)		2ゴロ			四球	1バ飛		四球	
(九)	9 山田(立命)			三振逃		三振	遊ゴロ		投ゴロ	

DH守備 1 八巻(福岡)・西岡(関西)・田中(京産)

女子試合結果

東軍：1 0 1 1 0 0 0 0 0 | 3 (東) ○高山・長谷川・漆谷・佐藤・山崎
西軍：1 0 0 0 1 0 0 0 0 | 2 (西) ●柚原・岡倉・宮前・西村・宮前

東	軍	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回
(一)	7R黒田(東女)	四球	左飛	3内安	投ゴロ					
	H丸山(国士)								3ゴロ	
(二)	6萩田(日体)	1犠バ	中前安	投バ安	2ゴロ				投ゴ失	
(三)	8長川(日体)	左前安	中直	3ゴ失	三振				1ゴロ	
(四)	3小林(日体)	中前安	中飛失	三振				三振	左飛	
(五)	9畑下(日体)	1ゴロ	2ゴロ	2ゴロ				四球	中前安	
(六)	5平下(東女)	1ゴロ	右越2B	三振逃				1ゴロ	右飛	
(七)	2R山崎(東女)	中前安	三振	左飛						
	H浜村(日女)	(塁上死)						左飛		
(八)	4栗原(日体)	1犠バ	投ゴロ					投直		
	H中嶋(国士)			2飛						
(九)	DH青山(日女)	3内安	3ゴ失	1ゴロ				左安(塁上死)		

DH守備 1 高山(日体)・長谷川(日体)・漆谷(東女)・佐藤(国士)

西	軍	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回
(一)	4行(園田)	2内安(重盗)	投強安	2ゴロ					投犠バ	
(二)	7R市川(中京)	1バFC(重盗)							三振	
	H7小坂(園田)		3犠バ	遊ゴロ						
(三)	6伊藤(中京)	捕邪飛	左邪飛				三振			
	6本橋(園田)								中飛	
(四)	2R宮前(園田)	遊飛		2飛					遊ゴロ	
	2西村(中京)						投ゴロ			
(五)	DH河野(武庫)	遊ゴロ		遊ゴロ			三振			
	H唐木(国際)								投ゴロ	
(六)	3吉田(国際)	1邪飛	三振					右飛	3ゴロ	
(七)	9菅浦(国際)	投前バ		2内安			2ゴロ			
(八)	5R高(園田)	四球(塁上死)		中越2B			三振			
	R吉村(国際)			代走						
(九)	8大西(園田)		左邪飛	1ゴロ				投内安		

DH守備 1 柚原(中京)・岡倉(武庫)

対戦成績 男子西軍の11勝13敗、女子東軍の19勝5敗

個人表彰

最優秀選手賞 男子 田辺伸也三塁手(関西大学) 2打数1安打2打点1捕殺
女子 平下真弓三塁手(東女体大) 5打数1安打1打点1捕殺
敢闘賞 男子 門田一効投手(早稲田大) 4回被安打1失点1自責0
女子 岡倉和子投手(武庫川大) 5回被安打2失点0自責0

総評 東西の対決は、男子が西軍の5連勝、女子が東軍の3連勝で終了したが、多くの得点が敵失絡みだったのは残念であった。しかし、随所に東西両大会ベスト4から選抜された選手の好プレーが見られた。特に、男子の投球と女子の攻撃には見るべきものがあった。関西学連の運営もよかった。(中女大 水谷)

第3回全日本女子短期大学ソフトボール大会結果

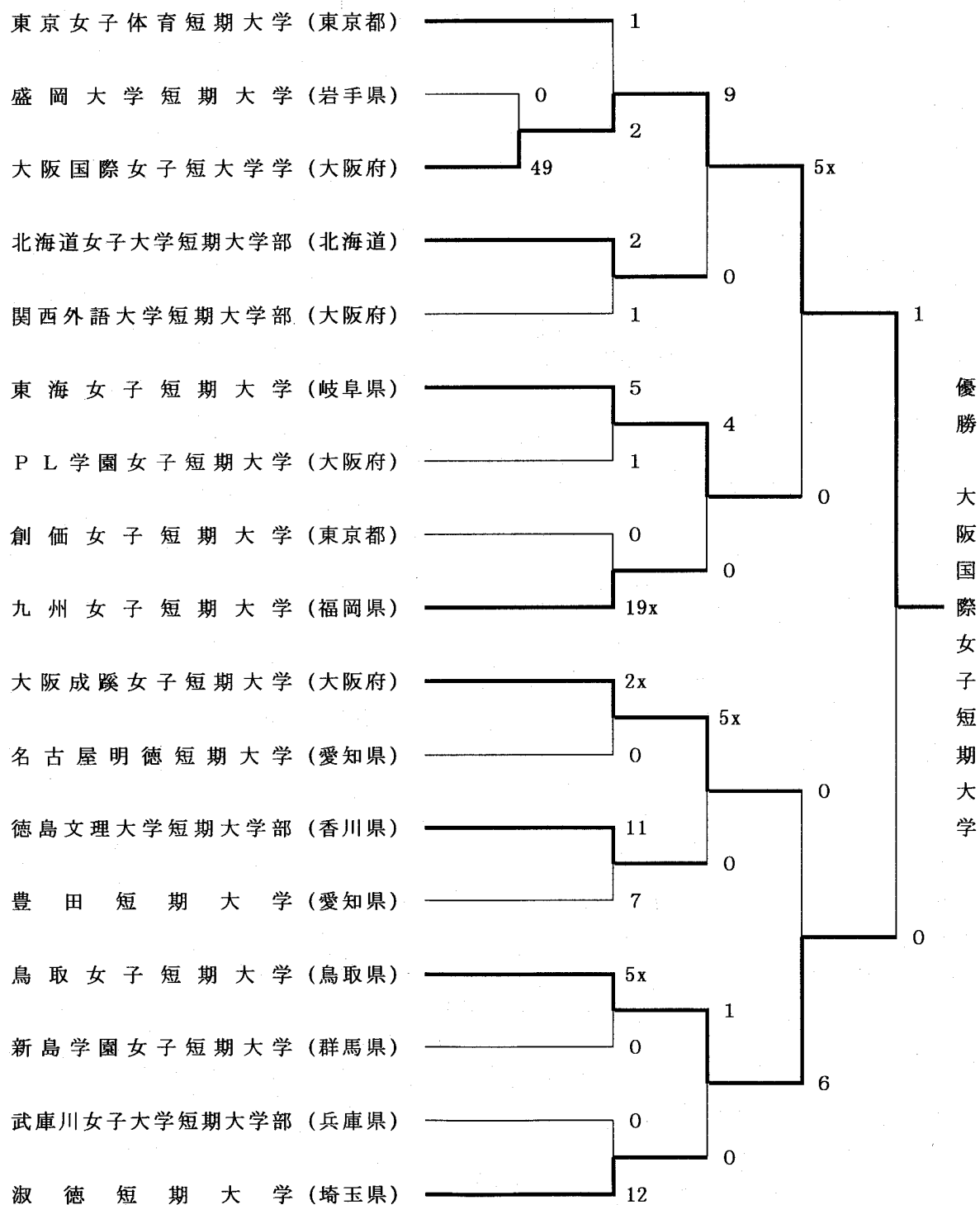
主催：全日本大学ソフトボール連盟

主管：東京都大学ソフトボール連盟

後援：東京都ソフトボール協会

期日：平成9年8月26日～8月28日

会場：日本体育大学深沢グラウンド

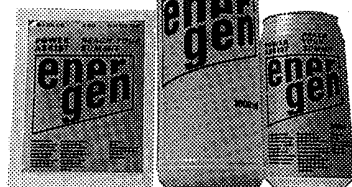


大塚製薬

事実、川口は、
CMに出る前から
エネルゲンを
飲んでいた。
なぜだ？

その理由は持久力。スポーツマンに欠かせないスタミナを、長時間にわたって維持するには、体脂肪をエネルギーに変える必要があります。エネルゲンは、その働きをたすける3つの成分、果糖・クエン酸・アルギニンを含んでいます。

勝利の陰に、持久力。(エネルゲン)



パウダー62g(12用)・スクイズボトル(12用)・340ml

ニュートラシューティカルズ

あなたをサポートするNUTRACEUTICALSの大塚製薬から。

第12回東日本大学ソフトボール選手権大会結果

主催：東日本大学ソフトボール連盟

主管：埼玉県ソフトボール協会・埼玉県ソフトボール協会西支部・

吉見町ソフトボール協会

後援：(財)日本ソフトボール協会・全日本大学ソフトボール連盟・

埼玉県大学ソフトボール連盟・埼玉県・埼玉県教育委員会・(財)埼玉県体育協会・

吉見町・吉見町教育委員会・吉見町体育協会

協賛：ナガセケンコー株式会社・三国コカコーラ

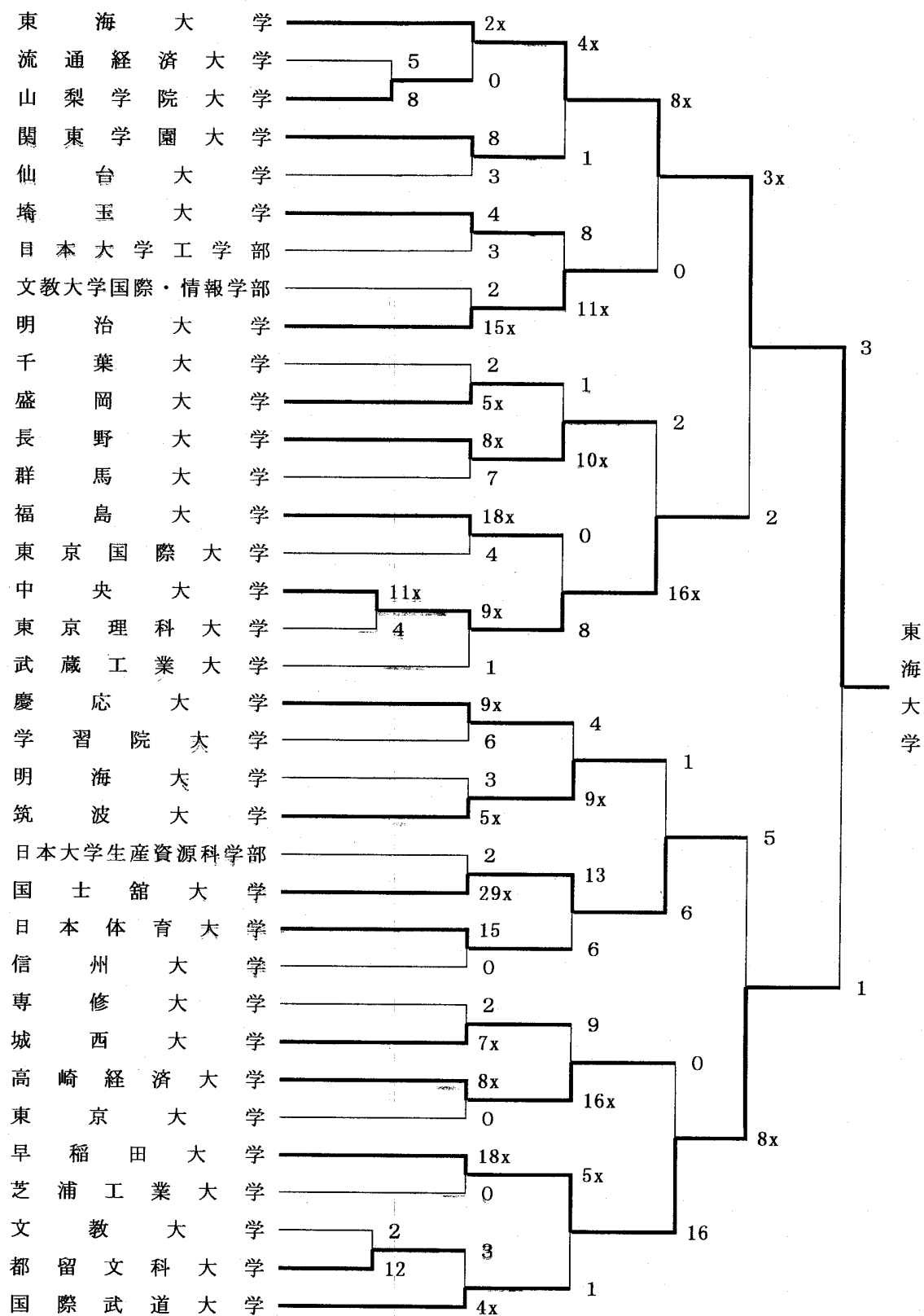
期日：平成9年7月31日～8月3日

会場：吉見町ふれあい広場ソフトボール場・北荒川吉見運動公園グラウンド

女子の結果

大学名	得点	失点	得失差
日本体育大学	14	0	14
仙台大学	2	0	2
千葉大学	0	0	0
東海大学	1x	6x	-5
早稲田大学	0	4	-4
信州大学	10	14	-4
宮城教育大学	18	0	18
東京学芸大学	6	12x	-6
上越教育大学	0	19	-19
埼玉大学	0	7x	-7
国士舘大学	0	19	-19
新島学園女子短期大学	7x	0	7
文教大学	0	1	-1
東京女子体育大学	0	0	0
創価大学	19	0	19
筑波大学	7x	0	7
淑徳大学	0	12x	-12
相模女子大学	0	0	0
順天堂大学	0	5x	-5
盛岡大学短期大学部	25	0	25
日本女子体育大学	0	0	0

男子の結果



第29回西日本大学ソフトボール選手権大会結果

主催：西日本大学ソフトボール連盟

主管：四国地区大学ソフトボール連盟・香川県ソフトボール協会

後援：全日本大学ソフトボール連盟・香川県・香川県教育委員会・高松市・高松市教育委員会・国分寺町・国分寺町教育委員会・四国新聞社・NHK高松放送局・西日本放送(株)・高松市コンベンションビューロー

期日：平成9年8月1日～8月4日

会場：香川県高松市西部運動センター・国分寺町民球場・国分寺町多目的広場・坂出トクソウグラウンド

女子の結果：

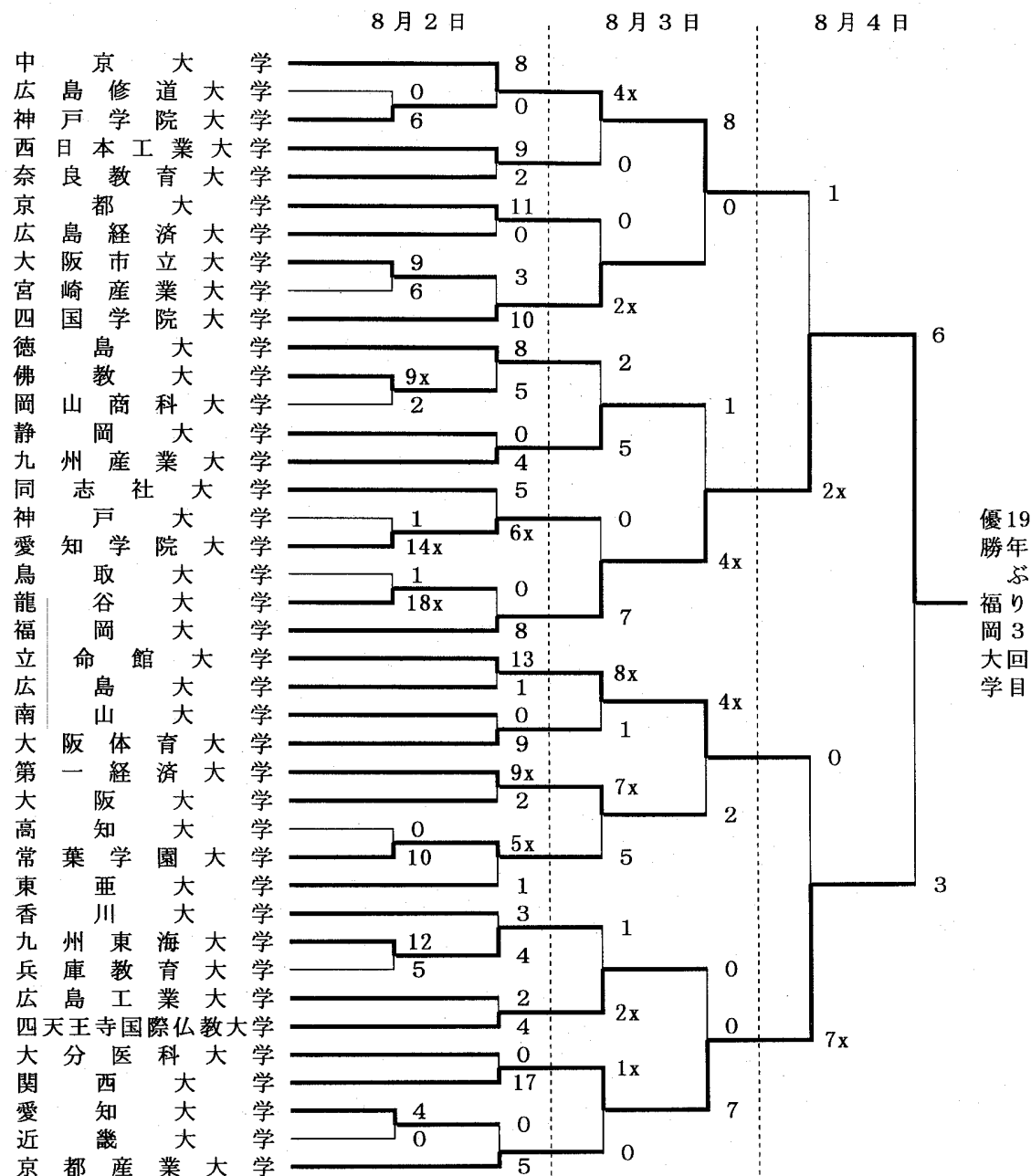
	8月2日	8月3日	8月4日	
中京大学	7			
中国短期大学	0	2	1x	
立命館大学	12	2		
大阪成蹊女子短期大学	12	2	2	
川崎医療福祉大学	0	2	0	
関西外国語大学	4	7		
福岡大学	3	0	0	1
佛教大学	7	5x	0	
徳島文理大学	8	0	6x	
豊田短期大学	13	0		
中京女子大学	0	2		
兵庫教育大学		8x		
武庫川女子大学	0	0	3	
大阪国際女子大学	5x	0	1	
熊本学園大学	5	0	2	
大谷女子大学	2	4	3	
鳥取女子短期大学	0	1		
名古屋明德短期大学	15x	2		
大阪体育大学	0	11x		
四国大学	0	12x		
神戸親和女子大学	0	1	4x	
岡山女子大学		4x		
東海女子大学				
龍谷大学				
愛知学泉大学				
園田学園女子大学				

優勝 3年ぶり8回目
園田学園女子大学

大会概要：

3年連続で同一カードとなった決勝戦は、関西の勇園田学園女子大学が立ち上がりに3長短打に犠打を絡めて2点を先取して有利に試合を進め、中京大学の反撃をスクイズの1点に抑えてその3連覇を阻んだ。全体的には、関西勢がベスト8のうちの6チームを占め、レベルの高さをうかがわせるが、優勝した園田学園女子大学をタイブレイクまで持ち込んで苦しめた東海女子大学の健闘が光る。また、九州・中四国勢は1・2回戦ですべて姿を消すという残念な結果であったので、いっそうの奮起が期待される。特に、コールドゲームが目立つことから投手を中心にした守備の強化が望まれる。(中京女子大学 水谷)

男子の結果：



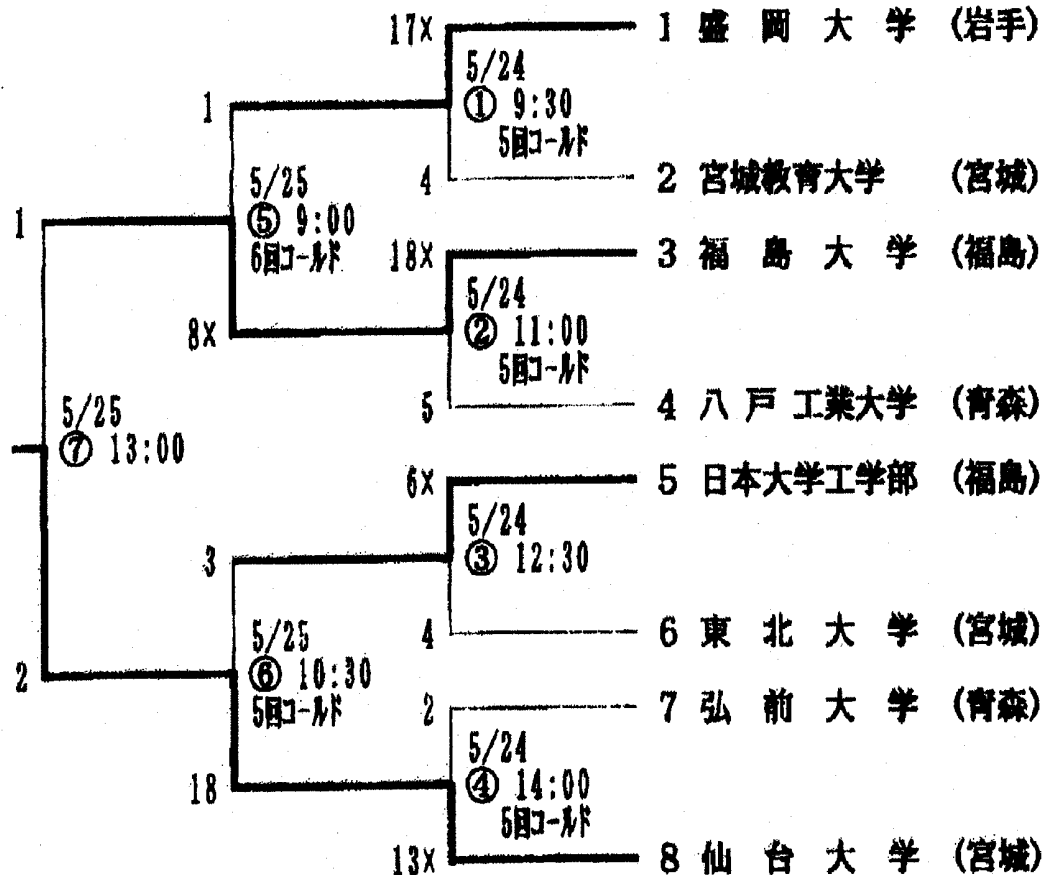
大会概要：

4強に残ったのは、九州地区の福岡大学、東海地区の中京大学、それに関西地区の関西大学と立命館大学であった。準決勝で優勝候補の2連覇を狙う中京大学をタイブレイクの末に破った福岡大学が、決勝でもその勢いに乗って準決勝で立命館大学に大勝した関西大学を破って3回目の優勝を飾った。決勝戦は、福岡大学が2点を初回に先取するも、関西大学も5回に3点本塁打で逆転した。直後の6回に福岡大学が相手守備の乱れに乗じて再逆転すると、関西大学は最終回二死満塁まで詰め寄ったが、一歩及ばず、緊迫した試合に終止符を打った。その他の試合では、3回戦の関西大学対京都産業大学の見応えのある投手戦が印象に残る。また、地域的には、関西地区のレベルの高さはいうまでもないが、九州地区の各チームががんばりが目立った大会であった。東海地区と中四国地区の奮起が期待される。(中京女子大学 水谷)

北海道・東北地区(男子)

1. 日 時: 平成9年5月24・25日
2. 会 場: 五所川原市営球場

[男 子] 五所川原市営球場



仙台大学はつながりのある打線と所々請求を乱す場面はあるもののエース大久保の要所をしめるピッチングや味方の堅い守備で予選を勝ち進んだ。福島大学は予選を通じて鈴木剛史のの投打にわたる活躍と中軸打線の強打、三塁手葛西ら内野の堅実な守りで勝ち進んだ。

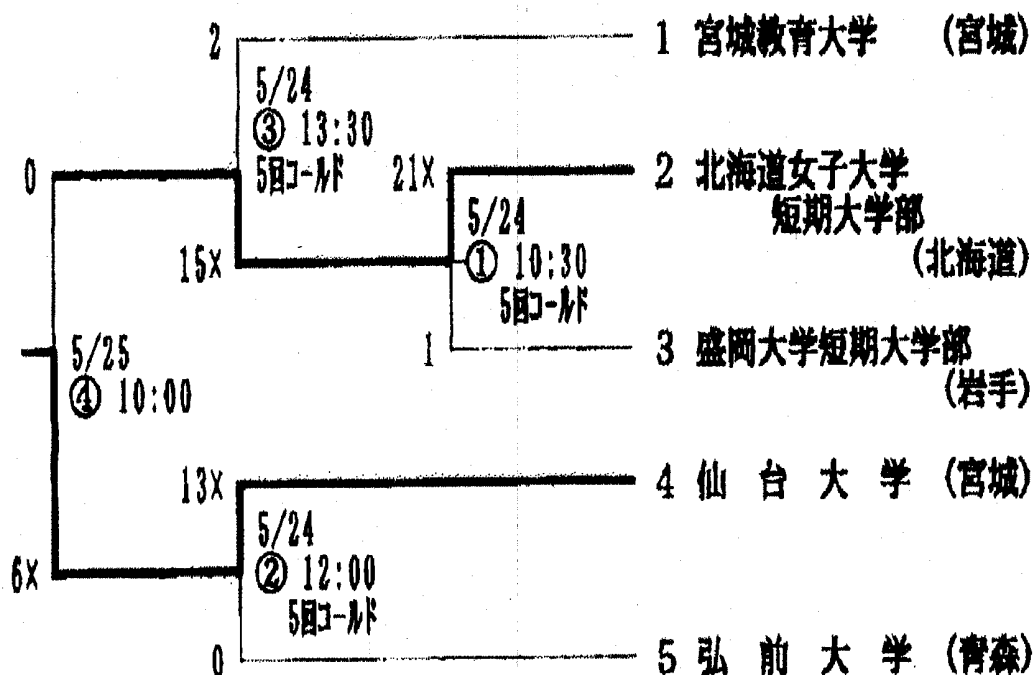
雨中の仙台大学対福島大学の決勝戦は緊迫した好ゲームが展開され、数少ない好機を柳沼の三塁打などで得点に結びつけた仙台大学が2-1の最少得点差で勝利した。

北海道・東北地区

1. 日 時：平成9年5月24・25日
2. 会 場：五所川原商業高等学校ソフトボール場

(女子)

[女 子] 五所川原商業高等学校ソフトボール場



決勝戦は仙台大学と北海道女子短期大学部の間で行われた。コーナーを突く丁寧なピッチングで北海道女子短期大学部打線を完封した早津の力投と平山らの好打で仙台大学が6-0と圧勝し、全国大会への出場権を獲得した。

平成9年度 第7回東北地区秋季トーナメント大会

主催：東北地区大学ソフトボール連盟

主管：仙台大学

後援：宮城県柴田町ソフトボール協会

期日：平成9年10月18・19日

【女子の結果】

弘前大学	16x			
盛岡大短期大学部	0		0	
宮城教育大学	0		25	
仙台大学	10x			

優勝 仙台大学 (7年連続7回目)

【男子の結果】

盛岡大学	3				
日大工学部	10x		4x		
東北大学	0		4		
仙台大学	7		3		
八戸大学	0		2		
八戸工業大学	4		5		
宮城教育大学	11		2		
弘前大学	0		19		
福島大学	23				

優勝 福島大学 (2年連続2回目)

【大会概要】

例年この時期はかなり寒く、昨年までの蔵王会場では山に近いこともあって、年によっては小雪がちらつくなかで試合が行われたこともあったが、今年は好天に恵まれ、小春日和のなか、順調に大会は進行した。

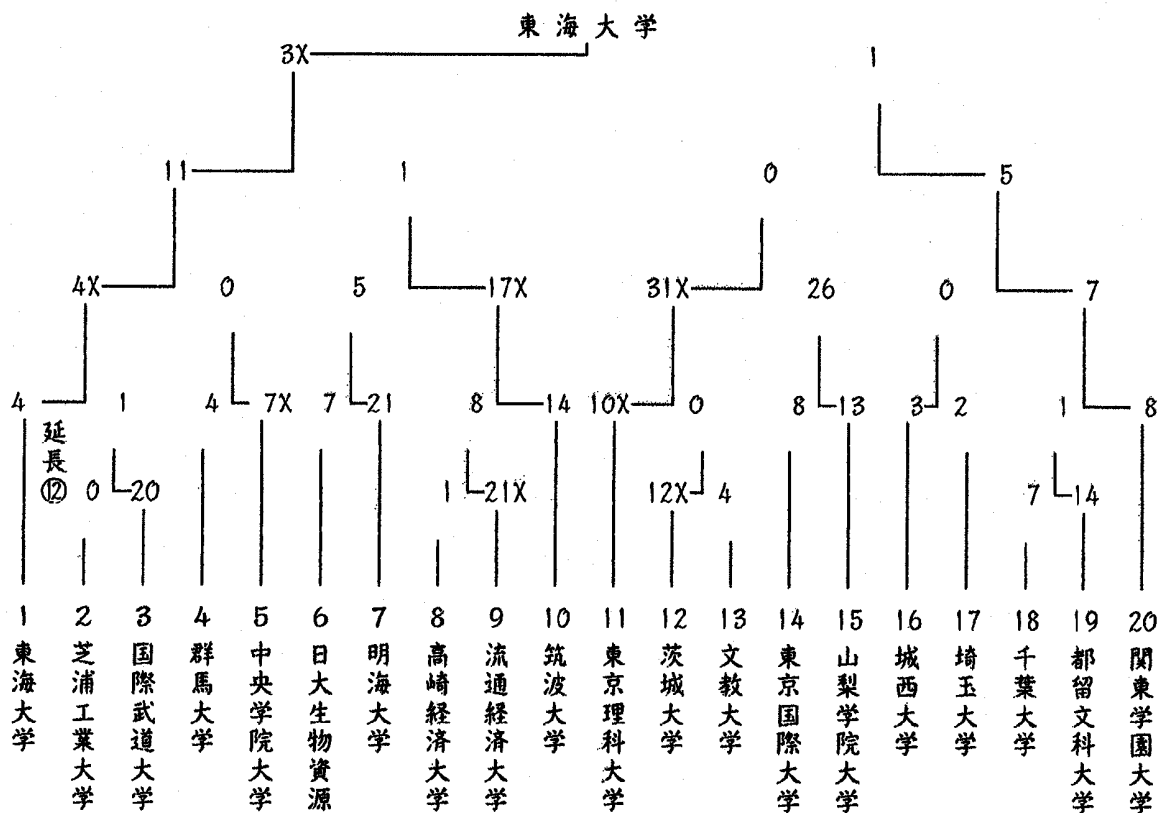
女子は仙台大が順当に連続優勝を果たした。仙台大の2年生投手早津は、2試合を完封し、その成長ぶりをアピールした。コーナーをつく丁寧なピッチングにチェンジアップを織り混ぜ相手につけ入る隙を全く見せなかった。

男子は、昨年の覇者福島大が投打に安定した力を発揮し2連覇を飾った。8月にインカレベスト8という好成績を挙げた仙台大は、福島大に勝って雪辱を晴らしたいところであったが、準決勝で伏兵日大に敗れるという大番狂わせがあった。この試合は、仙台大が3-0のリードで迎えた最終回の7回裏、日大は2点ホームラン等であつという間に逆転サヨナラ勝ちを納めるという、劇的なものであった。

関東地区

1. 日 時：平成9年5月24・25日
 2. 会 場：山梨県 一宮町・御坂町・石和町・八代町

(男子)

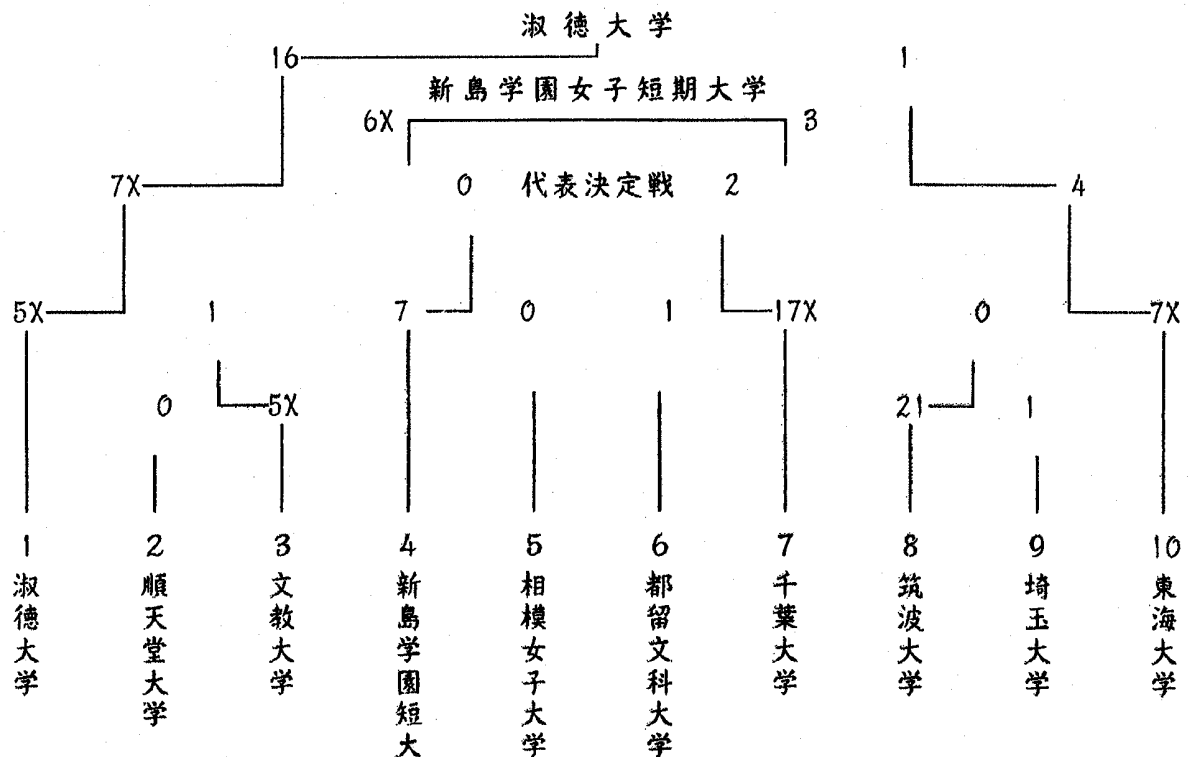


ベスト4（インカレ出場権）をかけた戦いは、雨中の戦いで水が浮いた気の毒な試合であった。ウインドミルでまともなピッチングはできず殆どの投手は授業でのゲームを見るようなスリングショットで恐る恐る投げていた。だからこそ31対26というようなラグビーを思わせる試合があった訳です。

全体としては順当ということができそうです。優勝した東海大にとっては、2回戦の対国際武道大との試合が事実上の決勝戦だった。延長になると不利な先攻でありながら、タイブレークで延長12回まで戦い東海大に勝利をもたらしたエース加藤の力投が光る。関東地区は、全体としては投手力が弱いように思います。東海大にしても加藤一枚ですし、理科大の好投手村上君にしても気温の高い南九州でどれ位頑張れるかが問題でしょう。関東学園大は、主将で捕手の船山君のリードが光り、強豪を相手にした時に力を発揮するだろう。東海大の打線の破壊力は昨年ベスト4まで残った時よりあるが、小技を使える選手がいないので好投手とあたった時、攻撃の糸口をつかむのに苦しむだろう。

関東地区

(女子)



レベルの低い関東地区にあって、全国レベルの力を持っているのは今年から名称を変えて出場している淑徳大学です。短大から4年制の大学になったとはいえまだ選手は1・2年生だけ、しかし先があるので人見監督も2年後を見据えたチーム作りをしている。決勝で淑徳大とあつた東海大は、淑徳大のスピードについていけず大敗を喫してしまった。原田姉妹・平田といった若い選手に期待する東海大は初戦突破ができれば上出来。特筆すべきは、イナカレ常連校である相模女子大を破り、さらに決定戦で千葉大を退けて出場権を手にした新島学園女子短期大学であろう。野口先生がいつも熱心に指導されていて以前から良いチームではあったのですが、組合せの不運もあってなかなか本戦出場とまではいかなかった。しかし、今年は群女短大付属から捕手に武井さんが加わりチームも一変、攻走守共まとまりがあり、初戦突破が期待される。

東京都

(男子)

- 期 日：平成9年4月20・27・29日・5月3・5日
- 会 場：日本体育大学、学習院大学、杏林大学

男子1部対戦成績

チーム	国士館	日体大	早稲田	慶応	中央	成蹊	勝	負	順位
国士館大学		6-3 (○)	2-3 ●	8-1 (○)	16-0 (○)	7-0 (○)	4	1	1
日本体育大学	3-6 ●		8-1 (○)	7-0 (○)	3-1 (○)	12-0 (○)	4	1	2
早稲田大学	3-2 (○)	1-8 ●		5-6 ●	8-7 (○)	5-9 ●	2	3	3
慶応大学	1-8 ●	0-7 ●	6-5 (○)		4-5 ●	8-6 (○)	2	3	4
中央大学	0-16 ●	1-3 ●	7-8 ●	5-4 (○)		8-1 (○)	2	3	5
成蹊大学	0-7 ●	0-12 ●	9-5 (○)	6-8 ●	1-8 ●		1	4	6

1部と2部の入替戦 1部 成 蹊 0 0 0 2 0 0 2 ※規定により6回表で終了
2部 明 治 0 0 2 1 0 × 3

男子2部対戦成績

チーム	明 治	学習院	東 大	武蔵工	日 大	専 修	勝	負	順位
明治大学		9-3 (○)	6-1 (○)	11-1 (○)	11-10 (○)	5-6 ●	4	1	1
学習院大学	3-9 ●		5-3 (○)	8-5 (○)	20-2 (○)	17-0 (○)	4	1	2
東京大学	1-6 ●	3-5 ●		9-1 (○)	12-2 (○)	11-4 (○)	3	2	3
武蔵工業大学	1-11 ●	5-8 ●	1-9 ●		9-4 (○)	6-4 (○)	2	3	4
日本大学	10-11 ●	2-20 ●	2-12 ●	4-9 ●		11-1 (○)	1	4	5
専修大学	6-5 (○)	0-17 ●	4-11 ●	4-6 ●	1-11 ●		1	4	6

2部と3部の入替戦 2部 専 修 0 0 0 0 1 1 1 3
3部 杏 林 1 2 0 3 1 1 × 8

男子3部対戦成績

チーム	杏林	学芸	東農大	桜美林	東経	国際基督	勝	負	順位
杏林大学		5-2 (○)	6-1 (○)	16-6 (○)	7-0 (○)	7-3 (○)	5	0	1
東京学芸大学	2-5 ●		4-3 (○)	6-9 ●	11-4 (○)	16-2 (○)	3	2	2
東京農業大学	1-6 ●	3-4 ●		6-3 (○)	13-0 (○)	7-0 (○)	3	2	3
桜美林大学	6-16 ●	9-6 (○)	3-6 ●		7-1 (○)	4-6 ●	2	3	4
東京経済	0-7 ●	4-11 ●	0-13 ●	1-7 ●		15-4 (○)	1	4	5
国際基督大学	3-7 ●	2-16 ●	0-7 ●	6-4 (○)	4-15 ●		1	4	6

3部と4部の入替戦 4部 一橋 9 1 4 14 ※規定により3回コールドゲーム
3部 国際基督 0 0 1 1

男子4部対戦成績

チーム	一橋	東洋	立教	帝京	明星	文教	日本歯科	勝	負
一橋大学		15-6 (○)	19-7 (○)	——	——	14-4 (○)	18-1 (○)	4	0
東洋大学	6-15 ●		13-2 (○)	——	18-10 (○)	——	15-2 (○)	3	1
立教大学	7-19 ●	2-13 ●		14-4 (○)	——	15-5 (○)	——	2	2
帝京大学	——	——	4-14 ●		16-9 (○)	4-11 ●	20-0 (○)	2	2
明星大学	——	10-18 ●	——	9-16 ●		7-4 (○)	15-5 (○)	2	2
文教大学	4-14 ●	——	5-15 ●	11-4 (○)	4-7 ●		——	1	3
日本歯科大学	1-18 ●	2-15 ●	——	0-20 ●	5-15 ●	——		0	4

東京都

(女子)

女子1部対戦成績

チーム	東女体大	日体大	日女体大	学芸	国士館	学習院	勝	負	順位
東京女子体育大学		2-0 (○)	8-1 (○)	6-2 (○)	4-2 (○)	8-0 (○)	5	0	1
日本体育大学	0-2 ●		7-0 (○)	6-0 (○)	12-2 (○)	14-0 (○)	4	1	2
日本女子体育大学	1-8 ●	0-7 ●		2-0 (○)	6-0 (○)	3-2 ●	3	2	3
東京学芸大学	2-6 ●	0-6 ●	0-2 ●		8-8 △	10-1 (○)	1	3 引分1	4
国士館大学	2-4 ●	2-12 ●	0-6 ●	8-8 △		6-1 (○)	1	3 引分1	5
学習院大学	0-8 ●	0-14 ●	2-3 ●	1-10 ●	1-6 ●		0	5	6

1部と2部の人替戦 1部 学習院 0 0 0 0 1 1 0 2
2部 日大 0 0 0 0 0 4 × 4

女子2部対戦成績

チーム	日大	早稲田	創価	中央	専修	日本女子	勝	負	順位
日本大学		1-0 (○)	6-1 (○)	5-0 (○)	8-0 (○)	10-0 (○)	5	0	1
早稲田大学	0-1 ●		7-4 (○)	5-0 (○)	15-7 (○)	16-0 (○)	4	1	2
創価大学	1-6 ●	4-7 ●		3-2 (○)	10-0 (○)	0-7 ●	2	3	3
中央大学	0-5 ●	0-5 ●	2-3 ●		8-8 △	9-0 (○)	1	3 引分1	4
専修大学	0-8 ●	7-15 ●	0-10 ●	8-8 △		11-1 (○)	1	3 引分1	5
日本女子大学	0-10 ●	0-16 ●	7-0 (○)	0-9 ●	1-11 ●		1	4	6

2部と3部の人替戦 2部 日本女子 0 0 3 0 0 0 0 3
3部 桜美林 6 0 0 0 0 0 × 6

女子3部対戦成績

チーム	桜美林	創価短	津田塾	勝	負	順位
桜美林大学		8-3 (○)	7-5 (○)	2	0	1
創価女子短期大学	3-8 ●		13-2 (○)	1	1	2
津田塾大学	5-7 ●	2-13 ●		0	2	3

平成9年度東京都大学ソフトボール秋季リーグ戦結果

主催：東京都大学ソフトボール連盟

主管：東京都大学ソフトボール連盟

期日：9月14・27・28日、10月4日

会場：東京女子体育大学他

女子1部結果：

チーム	日体大	東女体	国士館	東学大	日女体	日大	勝	負	分	順位
日体大		○ 6-1	△ 2-2	○ 6-0	○ 9-0	○ 11-0	4	0	1	優勝
東女体	● 1-6		○ 5-0	○ 18-0	○ 10-0	○ 6-0	4	1	0	2位
国士館	△ 2-2	● 0-5		○ 9-1	● 0-1	○ 1-0	2	2	1	3位
東学大	● 0-9	● 0-18	● 1-9		○ 2-1	○ 1-0	2	3	0	4位
日女体	● 0-9	● 0-10	○ 1-0	● 1-2		○ 5-0	2	3	0	5位
日大	● 0-11	● 0-6	● 0-1	● 0-1	● 0-5		0	5	0	6位

※4・5位は当該チームの対戦による。

入れ替え戦 日本大学2-5早稲田大学(1部昇格)

女子2部結果

チーム	学習院	早稲田	創 価	中 央	専 修	桜美林	順位
学習院		● 1-9	○ 11-2	○ 5-3	○ 17-4	○ 8-0	2位
早稲田	○ 9-1		○ 7-0	○ 7-0	● 2-4	○ 10-0	1位
創 価	● 2-11	● 0-7		● 5-6	● 2-5	○ 10-3	5位
中 央	● 3-5	● 0-7	○ 6-5		○ 11-4	○ 8-5	3位
専 修	● 4-17	○ 4-2	○ 5-2	● 4-11		○ 10-9	4位
桜美林	● 0-8	● 0-10	● 3-10	● 5-8	● 9-10		6位

入れ替え戦 桜美林大学5-15明星大学(2部昇格)

女子3部結果

チーム	日 女	創価短	津田塾	純 心	I C U	明 星	順位
日 女		○ 6-2	-	-	● 6-12	○ 11-7	3位
創価短	● 2-6		-	-	● 9-10	● 5-9	4位
津田塾	-	-		-	-	-	-
純 心	-	-	-		-	-	-
I C U	○ 12-6	○ 10-9	-	-		● 7-15	2位
明 星	● 7-11	○ 9-5	-	-	○ 15-7		1位

津田塾大学・東京純心大学は棄権

男子1部

チーム	国士館	日 体	早稲田	慶 応	中 央	明 治	勝	負	分	順位
国士館		● 0-1	○ 12-6	○ 9-2	○ 4-2	○ 7-1	4	1	0	2位
日 体	○ 1-0		○ 6-0	○ 8-1	○ 7-0	○ 12-0	5	0	0	優勝
早稲田	● 6-12	● 0-6		● 5-6	○ 8-7	○ 6-5	2	3	0	3位
慶 応	● 2-9	● 1-8	○ 6-5		● 5-9	● 5-6	1	4	0	6位
中 央	● 2-4	● 0-7	● 7-8	○ 9-5		○ 7-0	2	3	0	4位
明 治	● 1-7	● 0-12	● 5-6	○ 6-5	● 0-7		1	4	0	5位

入れ替え戦 慶応大学（1部残留）7-5 学習院大学

男子2部

チーム	成 蹊	学習院	東 大	武蔵工	日 大	杏 林	順位
成 蹊		● 0-14	● 2-13	● 1-3	● 2-3	○ 7-0	6位
学習院	○ 14-0		○ 4-1	● 2-3	○ 12-0	○ 7-0	1位
東 大	○ 13-2	● 1-4		○ 11-2	● 0-11	○ 2-0	3位
武蔵工	○ 3-1	○ 3-2	● 2-11		● 4-16	● 2-3	5位
日 大	○ 3-2	● 0-12	○ 11-0	○ 16-4		● 2-6	2位
杏 林	● 0-7	● 0-7	● 0-2	○ 3-2	○ 6-2		4位

入れ替え戦 成蹊大学（2部残留）5-1 東京学芸大学

男子3部

チーム	専 修	学 芸	東京農大	桜美林	東京経済	一 橋	順位
専 修		● 2-6	● 8-9	● 4-5	○ 19-4	○ 6-5	4位
学 芸	○ 6-2		○ 8-2	○ 4-3	○ 8-2	● 2-5	1位
東 農	○ 9-8	● 2-8		● 2-9	○ 12-4	○ 14-3	3位
桜美林	○ 5-4	● 3-4	○ 9-2		○ 11-4	○ 9-8	2位
東 経	● 4-19	● 2-8	● 4-12	● 4-11		● 2-12	6位
一 橋	● 5-6	● 0-7	● 3-14	● 8-9	○ 12-2		5位

入れ替え戦 東京経済大学6-8 明星大学（3部昇格）

男子4部

チーム	I C U	東 洋	立 教	帝 京	明 星	文 教	日 歯	順位
I C U		○ 7-6	—	○ 18-8	● 5-15	○ 12-11	—	2位
東洋	● 6-7		○ 12-5	○ 11-1	● 4-19	—	—	4位
立教	—	● 5-12		—	● 3-13	● 10-17	○ 26-10	5位
帝京	● 8-18	● 1-11	—		—	● 11-12	● 3-15	7位
明星	○ 15-5	○ 19-4	○ 13-3	—		—	● 16-0	1位
文教	● 11-12	—	○ 17-10	○ 12-11	—		○ 8-1	3位
日歯	—	—	● 10-26	○ 15-3	● 0-16	● 1-8		6位

東海地区

(男子)

1. 期 日: 4月29日・30日・5月5日

2. 会 場: 愛知県日進市東山グランド

1997年度の春季東海地区男子ソフトボールリーグ戦は4/29～5/5の間の3日間で1部から3部まで26試合、代表決定戦・入替戦3試合の合計29試合が展開された。

雨により一日順延され、しかも第2日目の午後はかなりの雨の中でのゲームとなったが、3日間を通して各チームの懸命のプレーが光った。各部の結果は以下の通り。

(文責:愛知大学 紅林和博)

【1部】

チーム	中京大	愛学院	愛知大	常葉大	静岡大	勝	負	分	差	順位
中京大		○ 6-1	○ 7-3	○ 7-3	○ 7-0	4	0	0	20	1位
愛学院	● 1-6		○ 3-2	● 0-7	○ 4-2	2	2	0	-9	2位
愛知大	● 3-7	● 2-3		○ 3-2	○ 7-0	2	2	0	3	3位
常葉大	● 3-7	○ 7-0	● 2-3		△ 3-3	1	2	1	2	4位
静岡大	● 0-7	● 2-4	● 0-7	△ 3-3		0	3	1	-16	5位

中京大学が相変わらずの強さで一部の優勝を飾った。中京大学は昨年の大木投手(現闘犬センター)を擁したチームのような絶対的な強さはないものの総合力で他チームを圧倒し、悠々と全勝で優勝となった。

愛知学院大学は初日第1試合で愛知大学を破り、勢いに乗るかと思われたが最終日には常葉学園大学に大敗し、結局2勝2敗となり、愛知大学との直接対決の結果、2位となった。

今リーグ戦で中京大学に唯一黒星をつけるかと思われたのは愛知大学。6回裏愛知大学の攻撃は1-3から同点に追いついてなおもチャンスが続いたが、中京山本投手に後続を断たれ同点どまり。7回表中京が底力を発揮し一挙4点をとって勝負を決めた。愛知大学はここ一番での集中力を欠き、久しぶりの優勝を逃し、順位も3位となった。

常葉学園大学・静岡大学の静岡県勢は今リーグは元気がそれぞれ4位・5位。常葉学園大学は野球経験者が多く大型チームでまだまだ伸びるチーム。投手力・守備力を鍛えて次回以降さらに上位を狙ってほしい。静岡大学は秋季リーグ戦は2部でのスタートとなるが奮起を期待したい。

【2部】

チーム	南山大	岐教大	名 大	朝日大	日福大	勝	負	分	差	順位
南山大		○ 10-9	○ 12-8	○ 15-5	○ 6-0	4	0	0	21	1位
岐教大	● 9-10		○ 10-2	○ 11-1	○ 15-4	3	1	0	28	2位
名 大	● 8-12	● 2-10		○ 12-3	○ 9-3	2	2	0	3	3位
朝日大	● 5-15	● 1-11	● 3-12		○ 6-3	1	3	0	-26	4位
日福大	● 0-6	● 4-15	● 3-9	● 3-6		0	4	0	-26	5位

南山大学が激しい打ち合いを制し、全勝で優勝を飾った。

南山大学は優勝で秋季リーグより一部昇格となり、ますますのチーム力アップを期待したい。

岐阜教育大学も2位となったものの1位となった南山大学とチーム力は均衡していた。入替戦では惜しくも敗退したが秋季リーグ戦での活躍を期待したい。

2部のチーム全体の総評としては特に投手力のアップをめざしてほしい。打力については1部と遜色ないチームも見受けられるために投手力がアップすれば1・2部の差がより近づくことになるであろう。

【3部】

チーム	愛教大	名城大	岐経大	みずほ	学泉大	勝	負	分	差	順位
愛教大		○ 9-2	○ 17-3	○ 11-1	○ 7-0	4	0	0	38	1位
名城大	● 2-9		○ 14-13	○ 18-12	○ 7-0	3	1	0	7	2位
岐経大	● 3-17	● 13-14		○ 14-5	○ 7-0	2	2	0	1	3位
みずほ	● 1-11	● 12-18	● 5-14		○ 7-0	1	3	0	-18	4位
学泉大	● 0-7	● 0-7	● 0-7	● 0-7		0	4	0	-28	5位

愛知教育大学が全勝で優勝し、入替戦にも勝ったため秋季リーグからの2部昇格を果たした。(愛知学泉大は棄権)

○リーグ戦終了後に行われた代表決定戦・入替戦の結果は以下の通りとなった。

【全日本大学選手権第3代表決定戦】愛知大×南山大対戦の結果、8-1で愛知大が勝ち、第3代表に決定。

【1・2部入替戦】常葉大×岐教大対戦の結果、9-1で常葉大が勝ち、1部残留。尚、1部5位の静岡大は2部へ、2部1位の南山大は1部へ昇格。

【2・3部入替戦】日福大×愛教大対戦の結果、19-2で愛教大が勝ち、2部昇格。

○全日本大学・西日本学生の両選手権大会への代表校は以下の通りとなった。

◇全日本: 中京大学・愛知学院大学・愛知大学

◇西日本: 中京大学・愛知学院大学・愛知大学・常葉学園大学・静岡大学・南山大学

平成9年度春季第29回東海地区大学ソフトボールリーグ戦（女子）結果

- 主催：東海地区大学ソフトボール連盟
- 主管：愛知県ソフトボール協会・幸田町ソフトボール協会・中京女子大学
- 後援：幸田町
- 期日：平成9年5月5・10・11・17・18日
- 会場：幸田町とばね運動広場
- 1部対戦成績：

チーム	中 京	東 海	中 女	明 徳	豊 田	愛 教	勝	分	敗	勝点	順位
中 京		○ 3-1	○ 5-0	○ 2-0	◎ 15-0	○ 8-2	5	0	0	+11	優勝
東海女子	● 1-3		● 0-1	○ 1-0	◎ 9-1	○ 4-1	3	0	2	-3	3位
中京女子	● 5-0	○ 1-0		△ 0-0	○ 6-0	◎ 7-0	3	1	1	+5	2位
明 徳	● 0-2	● 0-1	△ 0-0		○ 5-4	◎ 8-0	2	1	2	+1	4位
豊 田	◆ 0-15	◆ 1-9	● 0-6	● 4-5		○ 5-4	1	0	4	-8	5位
愛知教育	● 0-8	● 1-4	◆ 0-7	◆ 0-8	● 4-5		0	0	5	-12	6位

◎：コールド勝ち(+3) ○：勝ち(+2) □：タイブレイク勝ち(+1) △：引き分け(±0)
 ■：タイブレイク負け(-1) ●：負け(-2) ◆：コールド負け(-3) ()内は勝点

7. 1部個人表彰

最優秀選手賞：岩城 育枝 三塁手（中京大4年）打率. 385 守備率. 923

敢闘選手賞：谷村 真紀 投手（中女大4年）3勝1敗 防御率0. 219

1部首位打者賞：中谷優味恵 中堅手（中京大3年）打率. 438

ベストナイン：投手 柚原 雅美（中京大3年） 捕手 西村真由子（中京大4年）

一塁手 奥野 珠美（中京大3年） 二塁手 河合 静江（中京大4年）

三塁手 岩城 育枝（中京大4年） 遊撃手 伊藤 幸子（中京大4年）

左翼手 島村 美穂（東女大4年） 中堅手 出納 綾子（愛教大2年）

右翼手 浜口 きみ（中女大4年） 指名人 住田 明理（明徳大2年）

8. 1部総評

戦前の予想では中京大の優勝は堅いものの、他は混戦であり、特に明徳短大が3強の一角を崩すのではないかとされていた。しかし、開幕戦で中京大が愛教大に先制を許してコールド勝ちを逃すなど、波乱を予感させた。2日目に中女大は、東海女大を延長戦の末に敗ったものの、最終日の明徳短大戦で引き分けた。この結果、最終戦で東海女大が中京大に勝てば優勝という展開であったが、実力に優る中京大が逆転で勝利して優勝を決めた。この試合のように、相手ミスにつけ込む中京大の試合展開はさすがであり、イージーミスをなくしてインカレでの活躍を期待したい。また、4位に終わったものの、明徳短大は、中京大と東海女大にそれぞれ1本の本塁打で

敗れただけであり、守備の堅さは高く評価される。さらに、最下位で2部降格となった愛教大は、打撃ベストテンに3人を連ねたことから、守備力を高めれば、1部で十分戦える実力を有しているものと思われる。

9. 2部対戦成績：

チーム	学 泉	常 葉	岐 教	みずほ	静 岡	南 山	勝	分	敗	勝点	順位
愛知学泉		● 3-8	◎ 8-1	○ 6-1	◆ 0-9	◎ 11-0	3	0	2	+3	3位
常葉学園	○ 8-3		○ 5-4	○ 6-5	○ 9-7	● 8-12	4	0	1	+6	優勝
岐阜教育	◆ 1-8	● 4-5		● 4-10	● 7-8	● 9-13	0	0	5	-11	6位
愛知みずほ	● 0-2	● 0-1	○ 0-0		◆ 5-4	● 8-0	1	0	4	-7	5位
静 岡	◎ 9-0	● 7-9	○ 8-7	◎ 10-3		○ 4-3	4	0	1	+8	2位
南 山	◆ 0-8	○ 1-4	○ 0-7	○ 0-8	● 4-5		3	0	2	+1	4位

1・2位、3・4位は当該チームの対戦成績による。

◎：コールド勝ち(+3) ○：勝ち(+2) □：タイブレイク勝ち(+1) △：引き分け(±0)
■：タイブレイク負け(-1) ●：負け(-2) ◆：コールド負け(-3) ()内は勝点

10. 2部個人表彰

優 秀 選 手 賞：中根江美遊撃手(常葉大1年) 打率. 529 守備率. 958

2部首位打者賞：三澤聖美遊撃手(みずほ大2年) 打率. 667

ベストナイン：投 手 山本 道代(学泉大3年) 捕 手 徳増 愛(静岡大4年)

一塁手 河原やよい(みずほ大3年) 二塁手 吉田 昌代(みずほ大3年)

三塁手 上田 真基(静岡大3年) 遊撃手 西 祐子(静岡大3年)

左翼手 杉山真知子(常葉大2年) 中堅手 豊田 沙織(学泉大3年)

右翼手 相川 智美(静岡大2年) 指 節 園 良卯子(南山大3年)

11. 2部総評

2部は、名古屋大学の部員数の不足による欠場のため、6校によるリーグ戦で戦われた。毎季のように混戦の続く2部であるが、今季も全勝チームがなく、また逆転サヨナラゲームがあるなどいっそう実力伯仲のリーグ戦となった。その中で優勝を決めたのは常葉大であり、各試合とも5点以上をたたき出した打線がその原動力になった。また、4位に甘んじたものの、昨年秋には最下位であった南山大学の打力は評価される。2部チームの間にさしたる力の差はないので、各チームとも投手力の強化と確実な守備力を付けてもらいたいものである。

最後に、今季からベストナインを決めるようにしたが、最終日に短時間ながら各チームの主将による選考会が開かれ、データに基づいて民主的に決定されたことは特筆されよう。各選手の励みになるよう今後とも個人表彰の充実に努めていきたい。そのためにも、記録とその集計にいっそうの正確性と迅速性が求められると思われる。

12. 大学選手権第3代表決定戦

東海女子大(1部3位) 19-0 常葉学園大(2部優勝) 東海女子大は中京大・中女大とともに出場権獲得

13. 入れ替え戦

豊田短大(1部5位) 8-2 静岡大(2部2位) 豊田短大は1部残留

1997年度秋季東海地区大学男子ソフトボールリーグ戦

- 主 催：東海地区大学ソフトボール連盟
- 主 管：豊橋ソフトボール協会・愛知大学
- 開催日：10月6日（月）・7日（火）・8日（水）
- 会 場：愛知県豊橋市石巻運動広場

1997年度の秋季東海地区男子ソフトボールリーグ戦は10/6～8の間の3日間で1部から3部まで30試合、入替戦1試合の合計31試合が展開された。
各部の結果は以下の通り。

【1部】

チーム	中京大	常葉大	愛学院	愛知大	南山大	勝	負	分	点差	順位
中京大		○ 4-3	○ 8-1	○ 9-1	○ 8-0	4	0	0	24	1位
常葉大	● 3-4		○ 6-2	● 6-7	○ 7-2	2	2	0	7	2位
愛学院	● 1-	● 2-		○ 4-	○ 12-	2	2	0	3	3位
愛知大	● 1-9	○ 7-6	● 1-4		○ 7-0	2	2	0	-3	4位
南山大	● 0-8	● 2-7	● 1-12	● 0-7		0	4	0	-31	5位

二人の好投手をもつ中京大がほぼ危なげなく優勝を飾った。

中京大は力だけでなく小技もからめ、センター中心に打ち返す攻撃力も際立っていた。

中京大との対戦で唯一接戦にもちこんだ常葉学園大は選手個々の能力が高く、投手力が整備されていけば中京大とともに全国でも通用するチームになっていくだろう。

今夏のインカレに中京大とともに出場した愛知学院大と愛知大はともに中京大に大敗し、攻守ともより一層のレベルアップが必要であろう。

2部から昇格した南山大は上位4校との差はかなりあり、来春は2部からの再出発となるが1部の中でも対等に戦えるチーム作りを目指してほしい。

【1部ベストナイン】

投手：山本一也（中京大） 捕手：海津寿樹（中京大） 一塁手：平島丈徳（中京大）
 二塁手：井澤宏紀 三塁手：大山 勲（常葉学園大） 遊撃手：木村功二（中京大）
 左翼手：川瀬圭司（愛知学院大） 中堅手：西村洋信（中京大） 右翼手：鈴木洋平（中京大）

【2部】

チーム	静岡大	愛教大	朝日大	名 大	岐教大	勝	負	分	差	順位
静岡大		○4-0	○9-8	○8-4	○5-3	4	0	0	11	1位
愛教大	●0-4		△5-5	○9-1	○6-5	2	1	1	5	2位
朝日大	●8-9	△5-5		○12-4	●7-8	1	2	1	6	3位
名 大	●4-8	●1-9	●4-12		○3-1	1	3	0	-18	4位
岐教大	●3-5	●5-6	○8-7	●1-3		1	3	0	-4	5位

静岡大学が4戦全勝で優勝を飾った。

静岡大学は来年の春季リーグ戦より1部へ復帰となるが1部で戦い抜くには投手力を含めた守りを中心に力をつけていくことが必要であろう。

例年のことではあるが、2部チームは攻撃力に比べて投手力や守備力が弱いチームが多い。1部昇格を目指して基本練習にもっと時間を費やしてほしい。

【3部】

チーム	名城大	みずほ	岐経大	日福大	学泉大	勝	負	分	差	順位
名城大		○12-1	○13-4	○10-9	○14-7	4	0	0	28	1位
みずほ	●1-12		○11-9	○8-6	○21-6	3	1	0	8	2位
岐経大	●4-13	●9-11		○15-0	○11-2	2	2	0	13	3位
日福大	●9-10	●6-8	●0-15		○18-9	1	3	0	-9	4位
学泉大	●7-14	●6-21	●2-11	●9-18		0	4	0	-40	5位

名城大学が全勝で優勝を飾った。

3部のチームも2部と同様に投手力を含めた守りを鍛えてほしい。

来春から2部と3部が同一となる予定であり、今秋3部チームにも一気に1部昇格の可能性もあるのでそれを励みにがんばってほしい。

【1・2部入替戦】

愛知大×愛教大対戦の結果、7-0で愛知大が勝ち、1部残留。

尚、1部5位の南山大は2部へ、2部1位の静岡大は1部へ昇格。

（文責：愛知大学 紅林和博）

平成9年度秋季第30回東海地区大学ソフトボールリーグ戦（女子）結果

主催：東海地区大学ソフトボール連盟

主管：愛知県ソフトボール協会・刈谷市ソフトボール連盟・中京女子大学

後援：刈谷市教育委員会・刈谷市体育協会

期日：平成9年10月10・11・12・25・26日

会場：刈谷駅南運動広場

1部対戦成績：

チーム	中京	中女	東海	明徳	豊田	常葉	勝	分	敗	勝点	順位
中京		○ 6-0	○ 1-0	○ 2-0	◎ 12-0	◎ 18-0	5	0	0	+12	優勝
中京女子	● 0-6		● 0-3	● 0-2	○ 3-2	◎ 8-0	2	0	3	-1	4位
東海女子	● 0-1	○ 3-0		○ 7-3	◎ 8-0	◎ 19-0	4	0	1	+8	2位
明徳	● 0-2	○ 2-0	● 3-7		◎ 9-1	◎ 9-2	3	0	2	+4	3位
豊田	◆ 0-12	● 2-3	◆ 0-8	◆ 1-9		○ 3-2	1	0	4	-6	5位
常葉学園	◆ 0-18	◆ 0-8	◆ 0-19	◆ 2-9	● 2-3		0	0	5	-14	6位

2部対戦成績：

チーム	愛教	学泉	みずほ	名古屋	静岡	南山	岐教	看護	勝	分	敗	勝点	順位
愛知教育		◎ 11-0	◎ 10-0	◎ 17-0	● 5-9				4	0	1	+7	2位
愛知学泉	◆ 0-11		○ 8-3	◎ 10-3			◎ 7-0		4	0	1	+5	3位
みずほ	◆ 0-10	● 3-8		◎ 12-0		◆ 2-10			1	0	3	-5	6位
名古屋	◆ 0-17	◆ 3-10	◆ 0-12				◎ 10-1		1	0	3	-6	7位
静岡	○ 9-5					○ 5-0	○ 7-6	◎ 44-0	4	0	0	+9	優勝
南山			◎ 10-2		● 0-5		● 6-10	◎ 25-0	2	0	2	+2	5位
岐阜教育		◆ 0-7			● 6-7	○ 10-6		◎ 27-0	2	0	2	±0	4位
看護				◆ 1-10	◆ 0-44	◆ 0-25	◆ 0-27		0	0	0	-12	8位

◎：コールド勝ち(+3) ○：勝ち(+2) □：タイブレイク勝ち(+1) △：引き分け(±0)

■：タイブレイク負け(-1) ●：負け(-2) ◆：コールド負け(-3) ()内は勝点

個人表彰1部 最優秀選手賞・首位打者賞：石川道代外野手(中京大)、敢闘選手賞：田中晶子投手(東海女大)

ベストナイン：柚原投手(中京大)・高橋捕手(東海女大)・住田一塁手(明徳短大)・西川二塁手(東海女大)・土井遊撃手(明徳短大)・石川外野手(中京大)・中谷外野手(中京大)・松本外野手(中女大)・萩村指名打者(中京大)

個人表彰2部 優秀選手賞：徳増愛捕手(静岡大)、首位打者賞：豊田紗織捕手(愛知学泉大)

近畿地区

(男子)

1. 期 日：平成9年4月13・20・27・29日・5月3・4・5日

2. 会 場：万博スポーツ広場

1部リーグ	京産大	関西大	龍谷大	神院大	大経法	同 大	勝	負	分
京都産業大学		○ 3-1	○ 11-0	○ 3-1	○ 7-6	○ 6-0	5	0	0
関西大学	× 1-3		○ 2-0	○ 7-2	○ 1-0	○ 2-1	4	1	0
龍谷大学	× 0-11	× 0-2		○ 2-0	○ 7-0	○ 7-6	3	2	0
神戸学院大学	× 1-3	× 2-7	× 0-2		○ 4-3	○ 4-2	2	3	0
大阪経済法科大学	× 6-7	× 0-1	× 0-7	× 3-4		○ 7-0	1	4	0
同志社大学	× 0-6	× 1-2	× 6-7	× 2-4	× 0-7		0	5	0

5位の大阪経済法科大学は入れ替え戦へ
6位の同志社大学は自動的に2部に降格

一部総評：

平成9年度第29回春季関西学生ソフトボール男子リーグ戦は、開会式が予定されていた4月5日が雨天順延となり、翌週の4月13日に開幕した。

一部リーグは4月13、20、27、29日の4日間で6チームによる総当たり戦で争われた。戦前の予想では、投手力の充実している京都産業大学と関西大学の優勝争いになると思われていたが、その両チームが大会初日でいきなり対戦した。2回に飛び出した京産大4番打者岡本の打球は、センターのはるか頭上を越えていき、先制ホームランとなった。その後、関大も1点を入れて追いついたが、打線に厚みのある京産大にさらに2点を加えられ、勝負は3対1で京産大が勝利した。結局、この試合をものにした京産大は、エース田中が球威のあるドロップを武器に残り全試合を投げ、大量失点した試合もあったものの、完全優勝を果たした。関大も残る全試合に勝利したが、直接対決の結果が最終的に順位に反映された。また、今回のリーグでは、昨年度インカレ準優勝の同志社大学も戦力が整わず、投手力の不足により二部リーグに降格した。

一部リーグの全試合を振り返ると、冬場を越してのトレーニングの成果が時折垣間見えたが、どのチームも一回生などの新戦力がまだ大学レベルに達しておらず、既存の戦力にこの新戦力が加わってくるのは、夏場以降になりそうだ。今年の西日本、インカレにおいても、昨年のような当リーグ加盟チームの活躍を期待したい。

2部Aブロック	大阪大	京都大	大体大	桃山大	京園大	勝	負	分	勝点
大阪大学		× 1-2	○ 4-1	○ 9-3	○ 14-1	3	1	0	9
京都大学	○ 2-1		× 2-3	○ 10-0	○ 10-0	3	1	0	9
大阪体育大学	× 1-4	○ 3-2		○ 9-5	○ 10-0	3	1	0	9
桃山学院大学	× 3-9	× 0-10	× 5-9		○ 9-4	1	3	0	3
京都学園大学	× 1-14	× 0-10	× 0-10	× 4-9		0	4	0	0

2部Bブロック	四仏大	仏教大	姫独大	関学大	近畿大	勝	負	分	勝点
四天王寺国際仏大		○ 6-1	○ 13-1	○ 10-0	○ 9-2	4	0	0	12
仏教大学	× 1-6		○ 9-2	○ 7-0	○ 12-4	3	1	0	9
姫路独協大学	× 1-13	× 2-9		○ 8-2	○ 12-4	2	2	0	6
関西学院大学	× 0-10	× 0-7	× 2-8		○ 6-2	1	3	0	3
近畿大学	× 2-9	× 4-12	× 4-12	× 2-6		0	4	0	0

2部Cブロック	立命大	大府大	神戸大	和 大	姫工大	勝	負	分	勝点
立命館大学		○ 3-0	○ 7-1	○ 18-0	○ 8-0	4	0	0	12
大阪府立大学	× 0-3		○ 4-2	○ 12-0	○ 棄権	3	1	0	9
神戸大学	× 1-7	× 2-4		○ 14-4	○ 9-0	2	2	0	6
和歌山大学	× 0-18	× 0-12	× 0-14		○ 棄権	1	3	0	3

姫路工業大学	× 0-8	× 棄権	× 0-9	× 棄権		0	4	0	0
--------	----------	---------	----------	---------	--	---	---	---	---

2部Dブロック	大市大	甲南大	奈良教大	兵庫教大	大工大	勝	負	分	勝点
大阪市立大学		△ 4-4	○ 5-1	○ 8-3	○ 14-0	3	0	1	10
甲南大学	△ 4-4		○ 10-0	○ 14-13	○ 10-0	3	0	1	10
奈良教育大学	× 1-5	× 0-10		○ 10-0	○ 7-1	2	2	0	6
兵庫教育大学	× 3-8	× 13-14	× 0-10		△ 4-4	0	3	1	1
大阪工業大学	× 0-14	× 0-10	× 1-7	△ 4-4		0	3	1	1

二部総評:

二部リーグについては、下馬評ではエース土居を中心に戦力が整っている大阪市立大学、昨年秋季に二部落ちこそしたものの一部の常連校である立命館大学が優勝候補と目されていた。また、抽選の結果、大阪体育大学、京都大学、大阪大学といった強豪チームが集中したAブロックをどこが制するかに注目が集まった。

立命館大学のエース小山は延び悩んでいるのか、昨年秋に比べ球が走っておらず、独特のライズも浮ききらず、痛打されることが多かった。しかし、野手の戦力は充実しており、一回生には世界ジュニアの日本代表に選ばれた古里投手と川村遊撃手を加え、夏場以降の活躍が期待される。

4ブロックの勝者による2部ブロック決勝トーナメントには、大阪大学、四天王寺国際仏教大学、立命館大学、大阪市立大学が勝ち上がってきた。決勝戦は大阪大学が立命館大学を4対2で下し、その結果、大阪大学は一部6位の同志社大学に代わって、待望の一部昇格を果たした。圧倒的に強いと思われていた立命館大学は、エース小山の不調と打線の不発で入れ替え戦にまわった。結局、一部5位の大阪経済法科大学を大量点をとって下したが、昨年ほどのスゴ味はチーム全体に感じられず、今夏の期待はあまり寄せられないかもしれない。

全体的に、二部リーグはここ数年、一部リーグから有望大学が降格してくることが多く、そのためもあってか年々レベルは上がってきている。ただ、これも柱となる投手の存在が大きく、今後も勢力地図が少しずつ変わっていくことも予想される。また、部員不足のため、消化できない試合が生じたチームもあり、部員確保はどのチームにも死活問題であるようだ。

近畿地区

(女子)

1. 期 日：平成9年4月27・29日・5月3・4・5・11日
2. 会 場：園田学園女子大学、大谷大学、兵庫教育大学

< 1 部対戦成績 >

チーム	立命館	武庫川	園 田	関外大	国 際	龍 谷	勝	分	敗	勝点	順位
立命館		● 1-8	● 0-7	● 0-4	● 0-1	● 0-1	0	0	5	0	6 位
武庫川	○ 8-1		● 0-3	○ 1-0	● 6-8	● 0-2	2	0	3	2	4 位
園 田	○ 7-0	○ 3-0		○ 8-0	○ 2-1	○ 2-0	5	0	0	5	優勝
関外大	○ 4-0	● 0-1	● 0-8		● 0-1	○ 3-0	2	0	3	2	5 位
国 際	○ 1-0	○ 8-6	● 1-2	○ 1-0		● 2-4	3	0	2	3	3 位
龍 谷	○ 1-0	○ 2-0	● 0-2	● 0-3	○ 4-2		3	0	2	3	2 位

1 部総評：平成9年度春季第29回関西地区大学（女子）ソフトボールリーグ戦は4月27・29日、及び5月4・5日の4日間にわたって園田学園女子大学のグラウンドにおいて開催された。今年は例年になく雨が続き天候に悩まされたが、兵庫県大学ソフトボール連盟、兵庫県・大阪府ソフトボール協会の全面的な御支援のもと大幅な遅れもなく白熱したリーグ戦が繰り広げられた。関係者各位に厚く御礼申し上げます。

1 部リーグ戦は4季連続優勝の園田学園女子大学をはじめ、武庫川女子大学・大阪国際女子大学・関西外国語大学・立命館大学、昨年1部昇格を勝ち取った龍谷大学の6チームで争われた。戦前の予想では、園田学園女子大学と武庫川女子大学の優勝争いかと思われたが予想外の結果となった。園田学園女子大学は5戦全勝で圧倒的な強さを見せつけ優勝を決めたが、武庫川女子大学が思わぬ苦戦となり、あやうく2部後退になるところだった。今年1部昇格の龍谷大学が投打とも安定のあるチーム力で2位となった。大阪国際女子大学は打撃力はあるものの上手くつないでいくことができなかった。しかし、1年生の恒元舞投手の粘りあるピッチングで3位となった。また、関西外国語大学はチームが若手中心となったものの最優秀投手賞を1年生の熊岡奈麻選手が獲得し、これからの成長が期待される。

< 2 部対戦成績 >

チーム	大体大	親 和	成 蹊	大 谷	P L	兵 教	佛 教	勝	分	敗	勝点	順位
大体大		○ 1-0	○ 7-1	○ 5-1	◎ 10-0	◎ 8-0	◎ 7-0	6	0	0	6	優勝
親 和	● 0-1		○ 4-0	● 2-3	◎ 20-0	◎ 7-0	◎ 11-0	4	0	2	4	3 位
成 蹊	● 1-7	● 0-4		◆ 1-9	◎ 15-0	○ 7-1	◎ 9-0	3	0	3	3	4 位
大 谷	● 1-5	○ 3-2	◎ 9-1		◎ 10-0	○ 2-0	◎ 13-0	5	0	1	5	2 位
P L	◆ 0-10	◆ 0-20	◆ 0-15	◆ 0-10		● 0-3	● 3-5	0	0	6	0	7 位
兵 教	◆ 0-8	◆ 0-7	● 1-7	● 0-2	○ 3-0		● 3-5	1	0	5	1	6 位
佛 教	◆ 0-7	◆ 0-11	◆ 0-9	◆ 0-13	○ 5-3	○ 5-3		2	0	3	2	5 位

2 部総評：2 部リーグ戦は、秋季 1 部リーグから降格した大阪体育大学が全勝優勝を果たした。また、昨年 2 部 4 位だった大谷女子大学が 2 位の神戸親和女子大学を 1 点差で、また 3 位の大阪成蹊女子短期大学を大差で敗る快進撃をみせ、総合成績でも 2 位に入る健闘をみせた。今大会で最も印象の深かった試合は、大阪体育大学と大阪成蹊女子短期大学との一戦である。両投手の好投により投手戦となったこの試合は 1 対 1 のまま延長 10 回のタイブレーク導入にまでもつれ込む接戦となった。結局 10 回の表に 7 連続安打を放ち大量 6 点をあげた大阪体育大学が勝利を手にした。2 部リーグでは、1 部リーグとは違い、各チームの間に力の差があり必然的にコールドゲームが多くなる結果となった。各チームが絶対に 1 部に復帰するという気持ちで対戦し合えばもっと緊迫した好ゲームが数多くできたと思う。

又、入れ替え戦の結果、立命館大学が大阪体育大学を 4 対 0 で敗り、1 部残留が決定した。
(文責：山出)

1. 2 部入れ替え戦：

立命館大学：0 0 0 0 0 0 4 | 4 (1 部残留)

大阪体育大学：0 0 0 0 0 0 0 | 0

平成9年度第29回秋季関西学生ソフトボールリーグ戦（男子）結果

主催：関西学生ソフトボール連盟男子事務局

後援：大阪ソフトボール協会、ラジオ大阪

協賛：（株）MIZUNO、（株）ツツキ

期日：平成9年10月10・12・19日、11月2・3・8・9日

会場：万博公園スポーツ広場

一部総評：

春に続き、開会式が予定されていた10月4日が雨天順延となり、翌週の10月10日にリーグ戦は開幕した。

一部リーグは、大会前から優勝候補は京都産業大学と目されていた。新チームにはなったものの、投手だけが抜け、野手陣は全員残っており、その打線の破壊力は依然として変わらなかったからである。したがって、他の5チームはこの京産大を倒せば優勝の二文字が見えてくるのは確かと考えられていた。

初戦で京産大は立命館大学と対戦した。0対0の息の詰まる投手戦が展開され、結果は引き分けとなった。大会2日目を終えた時点で、全勝は関西大学、龍谷大学となった。関西大学は前チームの主力5人が抜け、苦しいチーム状況の中、接戦ながらも連勝していた。一方、これまで一部リーグにおいて優勝経験のない龍谷大学も、このチャンスをなんとか物にしたいと必死であった。しかしながら、関西大学は3日目のダブルヘッダーで連敗し、龍谷大学も京産大との直接対決で大敗し、優勝の望みは断たれた。その結果、戦前の予想通り、4勝1分で京産大が優勝を手にした。

また、一部リーグでもう一つの注目は、今大会から二部より昇格してきた大阪大学であった。このチームは他チームに比べてやや戦力的に弱いことは否めず、最下位は大阪大学だろうというのがおおかたの予想だった。しかし、大阪大学はターゲットを神戸学院大学にしぼり、他大学との対戦では使わなかった投手を登板させるという作戦をとった。そして、それが功を奏し、リーグ終盤での直接対決において6対3で勝利したのである。この直接対決の結果、神戸学院は最下位、自動的に二部降格となった。勝利した大阪大学は11月8日の二部ブロック決勝2位の同志社大学と入れ替え戦を行い、5対4の僅差でまたもや勝負強さを発揮し、一部残留を決めた。なみいる強豪の私立大学の中で、これからも新たな風を吹き込んでくれることを今後も期待している。

二部総評：

二部リーグは19チームを4ブロックに分けて実施された。A、C、Dブロックは評判通りの強さを発揮した大阪体育大学、四天王寺国際仏教大学、大阪経済大学がそれぞれ勝ち上がった。ただ、Bブロックは最終日まで1位争いが持ち越された。3戦全勝で同志社大学と京都大学が直接対決となったのである。前評判では京都大学が有利であったが、同志社大学も前回まで一部在籍のプライドをかけ、互いに負けられない一戦であった。先制点を取ったのは京都大学で、やはり京大かと思われたが、すぐさま同志社大学は素晴らしい集中打で逆転に成功した。その結果、同志社大学が追いすがると京大を振り切り、ブロック戦へとコマを進めることになった。

ブロック戦では波に乗る同志社は大阪体育大学を大差で下し、大阪経済法科大学との決勝戦を迎えた。両チームとも勝てば自動的に一部昇格ということで、必死であった。結局、総合力で一枚上であった大経法が勝利を収めた。また、一部との入れ替え戦では、この日2試合目となる同志社大は一部5位の大阪大学と対戦したが惜敗し、一部返り咲きはならなかった。

1部リーグ	京産大	龍谷大	関西大	立命大	大阪大	神院大	勝	負	分	勝点	順位
京都産業大		○13-2	○2-0	△0-0	○8-1	○7-4	4	0	1	13	優勝
龍谷大	×2-13		○1-0	○4-2	○10-0	△0-0	3	1	1	10	2位
関西大	×0-2	×0-1		○2-0	○10-1	○2-0	3	2	0	9	3位
立命館大	△0-0	×2-4	×0-2		○11-3	○1-0	2	2	1	7	4位
大阪大	×1-8	×0-10	×1-10	×3-11		○6-3	1	4	0	3	5位
神戸学院大	×4-7	△0-0	×0-2	×0-1	×3-6		0	4	1	1	6位

5位の大阪大学は入れ替え戦へ 6位の神戸学院大学は自動的に2部に降格

2部Aブロック	大體大	奈教大	大市大	大府大	甲南大	勝	負	分	勝点	順位
大阪体育大		×0-1	○2-1	○7-3	○9-1	3	1	0	9	1位
奈良教育大	○1-0		△7-7	×2-4	○9-3	2	1	1	7	2位
大阪市立大	×1-2	△7-7		○8-4	○3-1	2	1	1	7	3位
大阪府立大	×3-7	○4-2	×4-8		○14-1	2	2	0	6	4位
甲南大	×1-9	×3-9	×1-3	×1-14		0	4	0	0	5位

奈良教育大学と大阪市立大学の順位は完封試合規定による

2部Bブロック	同大	京都大	神戸大	兵教大	関学大	勝	負	分	勝点	順位
同志社大		○3-1	○3-0	○9-1	○7-0	4	0	0	12	1位
京都大	×1-3		○8-0	○14-0	○10-0	3	1	0	9	2位
神戸大	×0-3	×0-8		○5-1	○7-5	2	2	0	6	3位
兵庫教育大	×1-9	×0-14	×1-5		○18-8	1	3	0	3	4位
関西学院大	×0-7	×0-10	×5-7	×8-18		0	4	0	0	5位

2部Cブロック	四仏大	仏教大	京園大	大工大	近畿大	勝	負	分	勝点	順位
四天王寺仏大		○3-0	○13-2	○3-0	○8-1	4	0	0	12	1位
仏教大	×0-3		○7-3	○4-0	△3-3	2	1	1	7	2位
京都学園大	×2-13	×3-7		○4-3	○8-0	2	2	0	6	3位
大阪工業大	×0-3	×0-4	×3-4		○5-4	1	3	0	3	4位
近畿大	×1-8	△3-3	×0-8	×4-5		0	3	1	1	5位

2部Dブロック	大経法	姫獨大	桃学大	和 大	勝	負	分	勝点	順位
大阪経法大		○7-3	○14-4	○7-0	3	0	0	9	1位
姫路獨協大	×3-7		○18-8	○8-7	2	1	0	6	2位
桃山学院大	×4-14	×8-18		○20-16	1	0	0	3	3位
和歌山大	×0-7	×7-8	×16-20		0	3	0	0	4位

2部ブロック決勝

準決勝第一試合 大阪体育大学VS同志社大学は、同志社大学が勝利

準決勝第二試合 四天王寺国際仏教大学VS大阪経済法科大学は、大阪経済法科大学が勝利

決勝戦 同志社大学VS大阪経済法科大学は、大阪経済法科大学が勝利し、1部昇格

入れ替え戦

大阪大学VS同志社大学は、大阪大学が勝利し、1部残留

文責：学生委員長 川口慎一（関西大学）

第29回秋季関西学生ソフトボールリーグ戦（女子）結果

主催：関西学生ソフトボール連盟

主管：関西学生ソフトボール連盟

期日：9月28日、10月5・10・12・19日

会場：園田学園女子大学・大谷女子大学・京都女子大学

結果：

1部 大阪国際女子大学の初優勝

チーム	園田	龍谷	国際	武庫川	関外大	立命館	勝	負	順位
園田		○ 5 - 0	● 0 - 1	○ 7 - 0	○ 1 - 0	○ 10 - 1	4	1	2位
龍谷	● 0 - 5		● 0 - 5	● 1 - 2	○ 4 - 1	○ 4 - 1	2	3	4位
国際	○ 1 - 0	○ 5 - 0		○ 7 - 6	○ 1 - 0	● 4 - 3	4	1	優勝
武庫川	● 0 - 7	○ 2 - 1	● 6 - 7		○ 2 - 0	○ 2 - 1	3	2	3位
関外大	● 0 - 1	● 1 - 4	● 0 - 1	● 0 - 2		● 1 - 4	0	5	6位
立命館	● 1 - 10	● 1 - 4	○ 4 - 3	● 1 - 2	○ 4 - 1		2	3	5位

2部A

- 1位 神戸親和女子大学
- 2位 大谷女子大学
- 3位 大阪体育大学
- 4位 大阪成蹊女子短期大学
- 5位 兵庫教育大学
- 6位 PL学園女子短期大学
- 7位 佛教大学

2部B

- 1位 四天王寺国際仏教大学
- 2位 奈良教育大学
- 3位 同志社大学
- 4位 神戸大学
- 5位 大阪府立大学
- 6位 京都薬科大学
- 7位 京都女子大学

入れ替え戦

神戸親和女子大学（2部1位）6 - 1 関西外国語大学（1部6位）

（神戸親和女子大学は1部昇格）

四天王寺国際仏教大学（2部B1位） - 佛教大学（2部A1位）

（四天王寺国際仏教大学は2部Aへ昇格）

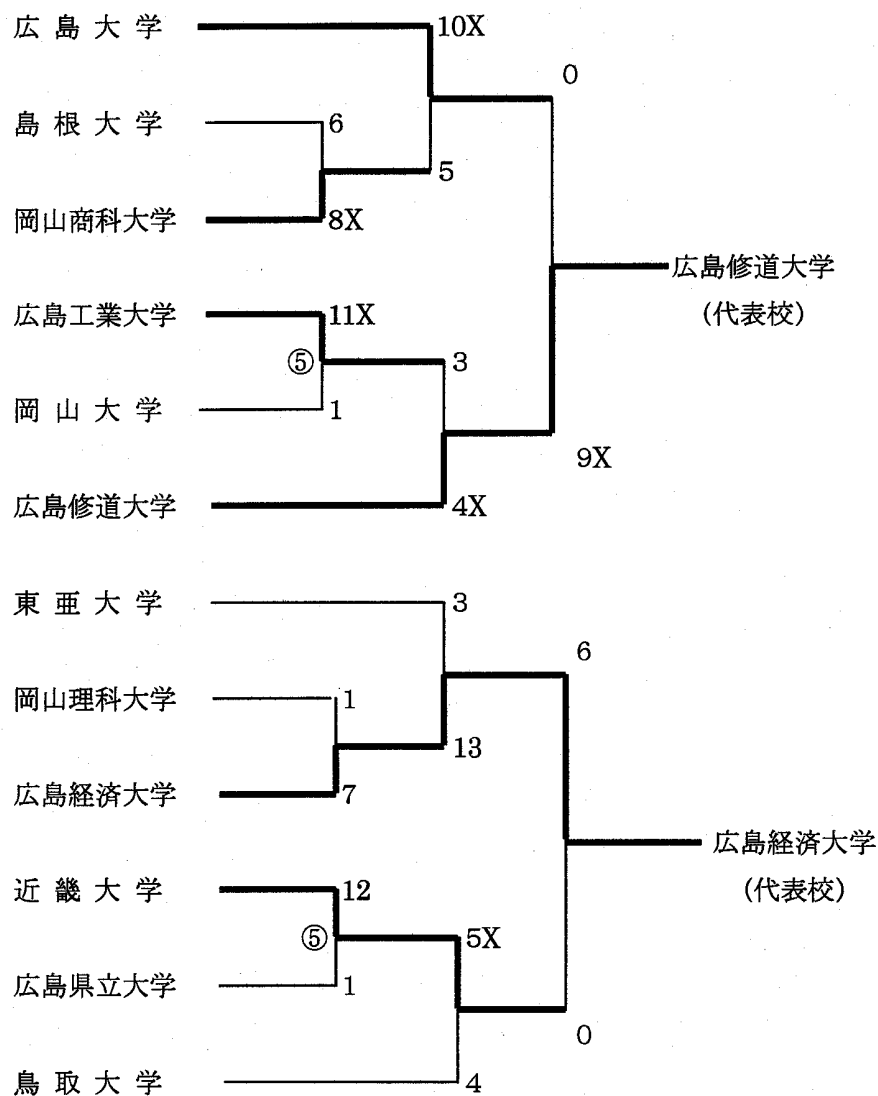
中国地区

1. 期 日：平成9年6月7・8日

2. 会 場：

(男子)

男子

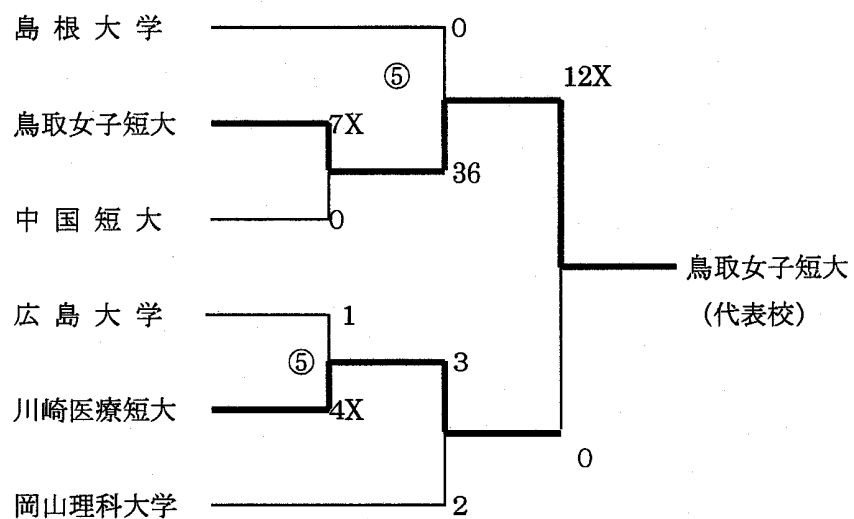


中国地区

(女子)

1. 期 日：平成9年6月7・8日

2. 会 場：



四国地区(男子)

1. 期 日：平成9年6月17・18日
2. 会 場：徳島市吉野川河川敷グラウンド

男子は、3チームずつ3グループに分けて予選リーグを行い、各グループの1位による決勝リーグ戦を行った。その結果、四国地区の第一代表に四国学院大学、第二代表に徳島大学がインカレの出場権を獲得した。

女子は、大学連盟加盟7チームの内3チームが部員不足や経済的理由により欠場したため、4チーム総当たりのリーグ戦を行った。その結果、3戦3勝の徳島文理大学が8年連続代表権を獲得した。

Aグループ

	徳島大学	高松大学	徳島文理
徳島大学		23 : 0	3 : 0
高松大学	0 : 23		9 : 28
徳島文理	0 : 3	28 : 9	

Bグループ

	香川大学	高知大学	愛媛大学
香川大学		7 : 6	12 : 3
高知大学	6 : 7		13 : 0
愛媛大学	3 : 12	0 : 13	

Cグループ

	四国学院	四国大学	松山大学
四国学院		12 : 1	6 : 0
四国大学	1 : 12		0 : 16
松山大学	0 : 6	16 : 0	

決勝リーグ

	徳島大学	香川大学	四国学院
徳島大学		9 : 0	0 : 5
香川大学	0 : 9		0 : 4
四国学院	5 : 0	4 : 0	

<講評> 5月17・18日の両日とも晴天に恵まれ、徳島県ソフトボール協会の協力を得て無事予選会を終えた。

男子は、予選リーグを勝ち抜いた3チームによる決勝リーグを行い代表の座を争った。決勝リーグの第一試合は、徳島大学の打線が爆発して1、2、3回に着実に得点し、9対0で快勝した。守っては徳島大学の平野投手が香川大学打線を散発2安打に押さえて完封した。

第二試合は、香川大学と四国学院大学の間で行われ、初回に1四球をはさむ3安打とレフトのエラーで3点を先取した四国学院大学が近藤投手の好投で4対0で勝つ。

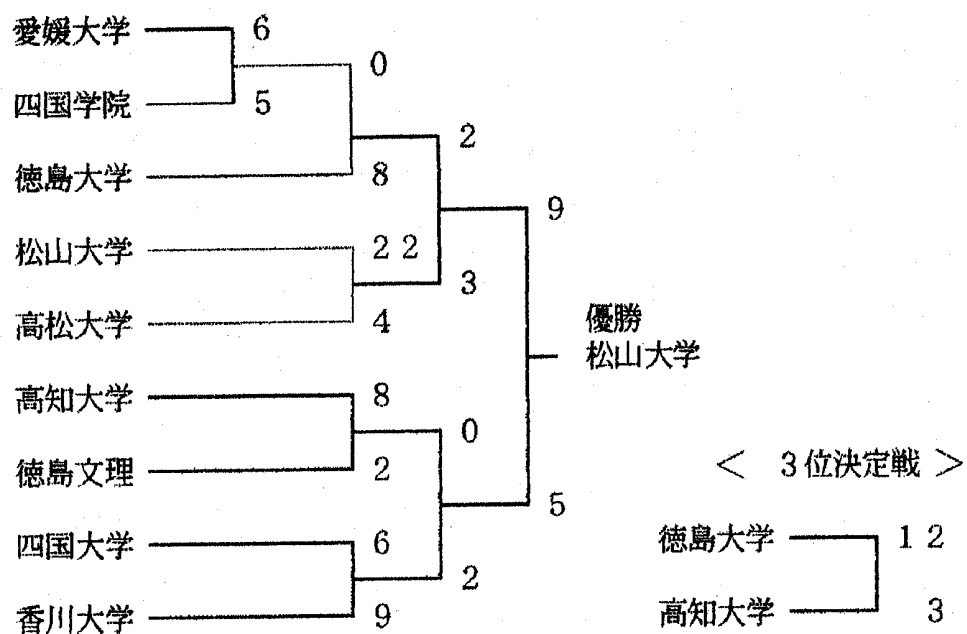
第三試合は、インカレの代表権を得た徳島大学と四国学院大学の間で行われ、前半は両投手の好投で無得点で進んだが、4回に1点を先取した四国学院大学が5回に1番南上のセンターオーバーのスリーランホームーで3点を追加、6回にも1点を入れ5対0で優勝した。守っては、四国学院大学の近藤投手が絶妙の制球で徳島大学を散発4安打で完封した。

両チームのインカレでの活躍を期待したい。特に、四国学院大学の近藤投手の活躍を期待したい。

一方、女子は3チームが不参加と言うさびしい大会になったが、今後ソフトボールチームの育成と競技人口の拡大に力を傾注する必要があると感じている。試合の方は、徳島文理大学が3戦3勝で圧勝したが、部員数僅か10名で余り多くは望めない。しかし、高校野球で徳島の池田高校がイレブン旋風をおこしたようにインカレで頑張っ

平成9年度 四国地区大学男子ソフトボール春季大会試合結果

大会期日： 5月4日（日） 、 大会場所： 徳島大学グランド



<コメント> 当初、5月3・4日の2日間で3グループに分けて予選リーグ戦を行う予定であったが、5月3日は降雨で中止し、5月4日にトーナメント戦で試合を行う。決勝戦は2回に6点を先取した松山大学が徳島大学の追撃を振り切って優勝。3位決定戦では、初回に7点を先取した徳島大学が12：2の大差で勝つ。

四国地区

(女子)

＜ 女子決勝リーグ ＞

	徳島文理	徳島大学	四国大学	香川大学
徳島文理		8 : 0	13 : 0	15 : 2
徳島大学	0 : 8			0 : 19
四国大学	0 : 13	12 : 5		
香川大学	19 : 0	2 : 15	5 : 12	

平成9年度四国地区大学女子ソフトボール大会秋季大会

主催：四国地区大学ソフトボール連盟

主管：四国地区大学ソフトボール連盟・香川県ソフトボール協会

期日：10月18日（土）・19日（日）

会場：香川県志度町志度町民球場・志度町多目的広場

結果：

予選リーグA 徳島文理大32-0 四国学院大 徳島文理大17-0 高知大
高知大7-5 四国学院大

予選リーグB 四国大4-2 香川大 四国大8-1 徳島大
香川大15-2 徳島大

5・6位決定戦

徳島大：4 0 0 0 1 | 5 {徳} ●井本-長瀬
四国学院大：3 0 3 0 0 | 6 {四} ○笹岡-鈴木

3・4位決定戦

高知大：0 0 0 0 2 | 2 {高} ●前田・阿野田-椎江
香川大：2 4 1 5 x | 12 {香} ○井上-中村

1・2位決定戦

徳島文理大：1 3 0 1 0 7 3 | 15 ○竹内-太田
四国大：1 0 0 0 0 0 0 | 1 ●島田-熱田

▽本塁打：釜野2・平田（文理） ▽三塁打：門田（文理）

▽二塁打：島田（四国）

最終成績：1位徳島文理大学 2位四国大学 3位香川大学

4位高知大学 5位四国学院大学 6位徳島大学

講評：本年度最後の大会で、加盟7大学中松山東雲短大が就職活動などで不参加となり、6チームの参加を得て開催された。初日は3チームずつ2グループに分かれて予選リーグを行い、2日目は順位決定戦を行った。幸い天候にも恵まれて各チームとも和気あいあいで相互の親睦を深めた。1・2決定戦は徳島文理大学の打棒が爆発し、19長短打で圧勝し、本年度最後の大会を飾った。最近、女子は各チームとも部員数が少なくチーム編成に苦労している。何とかこれを打開する妙案はないだろうか。（徳島文理大 川田）

平成9年度四国地区大学男子ソフトボール大会秋季大会

主催：四国地区大学ソフトボール連盟

主管：四国地区大学ソフトボール連盟・愛媛県ソフトボール協会

期日：11月1日（土）・2日（日）

会場：松山大学久万ノ台グラウンド

結果：

予選リーグA 四国学院大8-1四国大 四国学院大5-4香川大
香川大15-3四国大

予選リーグB 徳島大14-5高松大 徳島大9-2松山大
高松大8-7松山大

予選リーグC 高知大11-5愛媛大 高知大18-2徳島文理大
愛媛大10-3徳島文理大

7・8・9位決定戦 松山大18-2徳島文理大 松山大5-9四国大
四国大3-13徳島文理大

4・5・6位決定戦 香川大30-3高松大 香川大6-7愛媛大
愛媛大8-20高松大

1・2・3位決定戦 四国学院大：000030 | 3 {四} ○近藤-大西
徳島大：000001 | 1 {徳} ●平野-尾崎

投手戦は、四学が5回に1死12塁での右前打を右翼手が後逸する間に3点を先取して試合を決めた。

高知大：02102 | 5 {高} ●岩河-小野
徳島大：02211 | 6 {徳} ○正木-尾崎

▽本塁打：田所（徳）

5対5の接戦で迎えた5回裏に徳大は、田所の右中間本塁打で勝ち越して逃げ切った。

高知大：3000200 | 5 {高} ●岩河-小野
四国学院大：1000105x | 7 {四} ○近藤-下田

▽本塁打：岩河（高） ▽三塁打：磯田（高）

▽二塁打：木下（四）

岩河の右中間本塁打等で3点を先取された四学は、徐々に追いつき、最終回に1四球と2敵失に2安打を絡めてサヨナラ勝ちを納めるとともに、優勝を決めた。

最終成績：1位四国学院大学 2位徳島大学 3位高知大学

4位香川大学 5位愛媛大学 6位高松大学 （得失点差）

7位松山大学 8位四国大学 9位徳島文理大学 （得失点差）

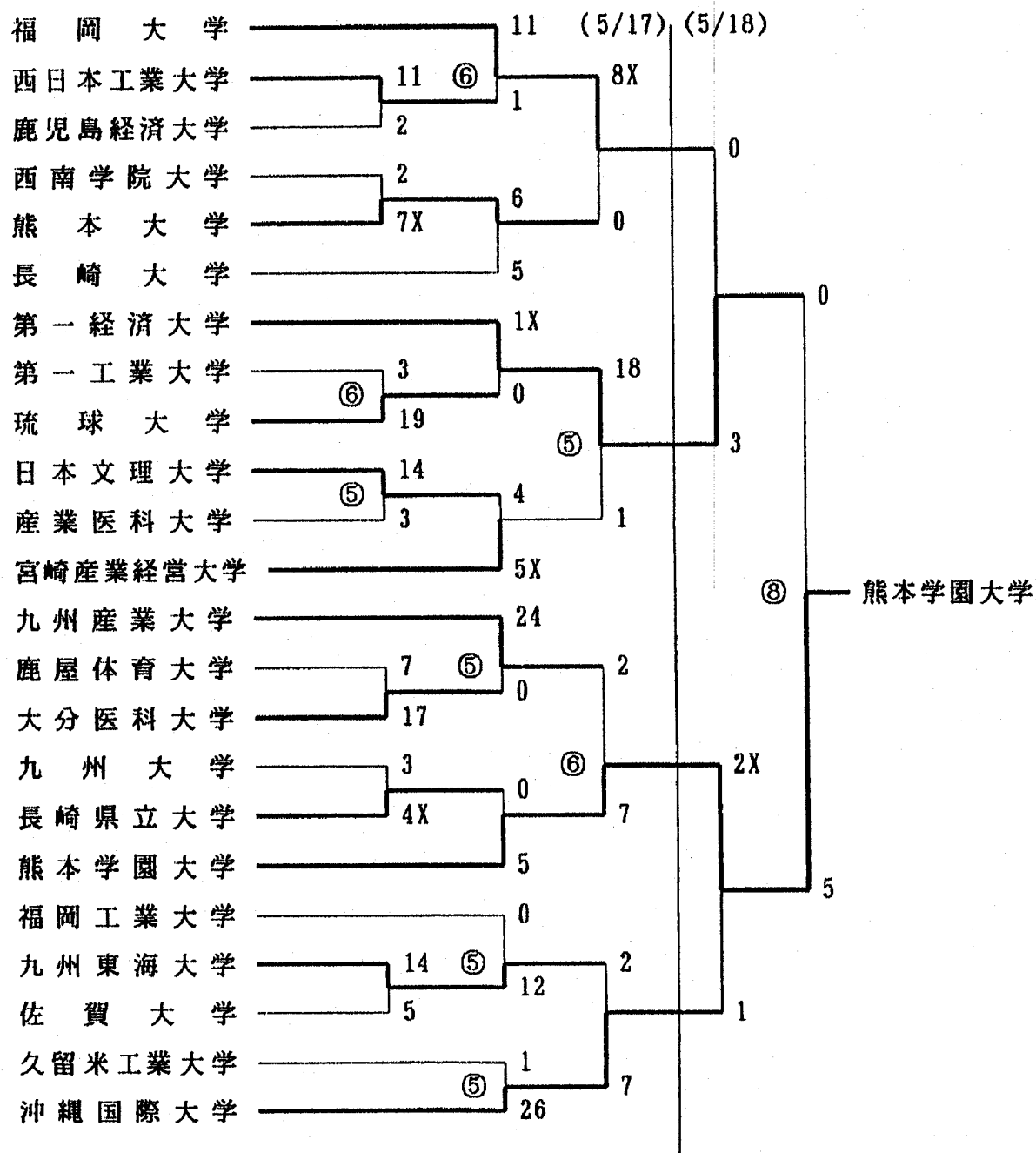
講評：大会両日とも好天に恵まれ、愛媛県ソフトボール協会の協力を得て本年度最後の大会を有終の美で飾ることができた。更に各チーム共切磋琢磨して来期以降の飛躍を期待したい。ただ大会運営において、いくつかの問題点があったので今後改善をする必要を感じた。（徳島文理大 川田）

九州地区

1. 期 日：平成9年5月17・18日

2. 会 場：宮崎県都城市 宮崎産業経営大学・母智丘多目的広場

(男子)



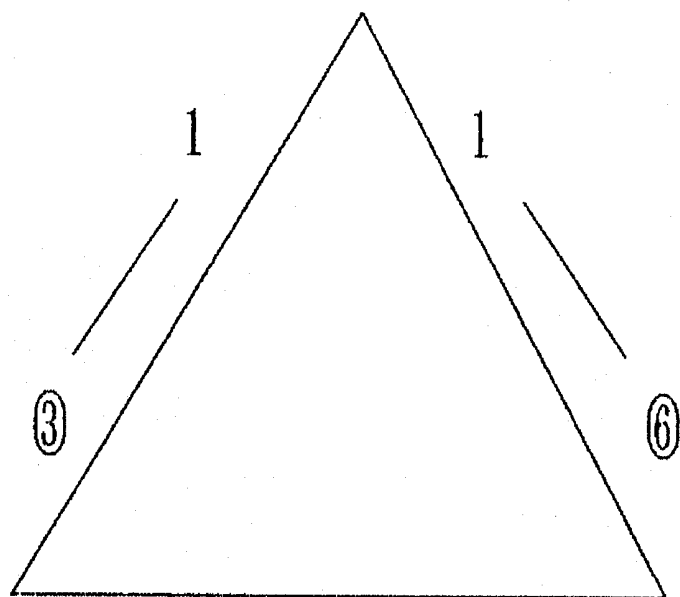
九州地区

1. 期 日：平成9年5月17日
2. 会 場：宮崎県都城市 梅北運動公園

(女子)

(3チームによるリーグ戦)

福岡大学



沖縄国際大学 2 ———— ③ 九州女子大学

2勝した九州女子大学に全国大会への出場権付与。

第49回全日本総合女子選手権大会結果

主催：日本ソフトボール協会

主管：神奈川県ソフトボール協会

期日：9月26日（金）～29日（月）

会場：神奈川県伊勢原球場他

結果：

日 立 高 崎 (群 馬)	3	5x			
F U K U J U S O (岐 阜)	0				
岩 手 東 芝 (岩 手)	2				
東 芝 ラ イ テ ッ ク (栃 木)	1	0			
日 立 工 機 (茨 城)	1x				
東 芝 北 九 州 (福 岡)	0	0			
園 田 学 園 女 子 大 学 (兵 庫)	0				
松 下 電 工 (埼 玉)	3	1x			
日 立 ソ フ ト ウ ェ ア (神 奈 川)	7x				
大 和 電 気 工 業 (長 野)	0	1x			
三 菱 化 学 (岡 山)	1				
デ ン ソ ー (愛 知)	4x	0			
大 鵬 薬 品 (徳 島)	0				
戸 田 中 央 総 合 病 院 (埼 玉)	1x	0			
東 海 理 化 電 機 製 作 所 (愛 知)	0				
ミ キ ハ ウ ス (大 阪)	1x	1			
ト ヨ タ 自 動 車 (愛 知)	2				
Y K K 四 国 (香 川)	0	13x			
カネボウ化粧品小田原 (神 奈 川)	0				
福 島 橘 ク ラ ブ (福 島)	2x	2			
三 洋 島 根 (島 根)	0				
東 邦 銀 行 (福 島)	4	0			
日 本 生 命 保 険 (大 阪)	0				
太 陽 誘 電 (群 馬)	1	8x			
シ オ ノ ギ 製 薬 (兵 庫)	2				
関 病 院 (静 岡)	0	5x			
Y K K 黒 部 (富 山)	3				
日 通 工 (神 奈 川)	9	0			
J A さ っ ぽ ろ (北 海 道)	0				
大 徳 (東 京)	1x	1			
浦 島 海 苔 (熊 本)	1				
豊 田 自 動 織 機 (愛 知)	8x	4x			

優勝 日立高崎 群馬県

一年連続五度目

全日本大学ソフトボール連盟ニュージーランド遠征男子選抜チーム

1. 役員

団 長 末井健作 連盟理事長 姫路工業大学
副団長 川田健司 連盟常任理事 徳島文理大学
渉 外 高橋伸次 連盟常任理事 高崎経済大学
監 督 吉末和也 連盟事務局次長 園田学園女子大学
コーチ 奥間 忍 福岡大学監督 福岡大学

2. 選手

No.	背番号	位 置	氏 名	所属大学	学年	出 身 高 校
1	5	投 手	八 卷 大	福 岡 大学	4	山形・南陽
2	20	投 手	西 岡 賢 二	関 西 大学	4	高知・高知学芸
3	6	投 手	柿 葉 孝 治	福 岡 大学	3	高知・中村
4	7	投 手	澤 岷 慎太郎	福 岡 大学	1	沖縄・読谷
5	17	投 手	竹 下 雅 基	神戸学院大学	1	島根・三刀屋高
6	1	捕 手	木 場 武 文	日本体育大学	4	鹿児島・鹿児島実業
7	21	捕 手	谷 脇 俊 宏	関 西 大学	3	高知・高知学芸
8	8	捕 手	溝 口 弘一郎	福 岡 大学	2	長崎・佐世保西
9	12	捕 手	豊 谷 一	四 国 大学	1	徳島・城南
10	16	捕 手	渡 辺 昌 也	千 葉 大学	3	岐阜・賀茂
11	24	捕 手	岡 村 卓 典	中 京 大学	1	高知・岡豊
12	14	一塁手	桜 井 竜 次	仙 台 大学	3	神奈川・光明相模原
13	18	一塁手	横 川 浩 二	中 央 大学	3	高知・高知学芸
14	9	二塁手	南 風 貢	福 岡 大学	2	沖縄・美里工業
15	22	三塁手	川 口 慎 一	関 西 大学	3	大阪・近畿大附属
16	25	三塁手	小 岩 正 敏	中 京 大学	1	石川・野々市明倫
17	10	遊撃手	川久保 衛	日本体育大学	4	静岡・掛川西
18	23	遊撃手	高 橋 長太郎	関 西 大学	1	三重・津西
19	26	左翼手	西 村 洋 信	中 京 大学	1	京都・綾部
20	15	中堅手	川 瀬 圭 司	愛知学院大学	3	三重・三重
21	13	中堅手	三 原 清 次	四 国 大学	4	徳島・鳴門
22	11	中堅手	柿 本 浩 二	第一経済大学	2	福岡・九産大附
23	19	中堅手	田 中 聡 史	中 央 大学	1	兵庫・川西緑台
24	2	右翼手	布 野 隆 文	日本体育大学	4	島根・三刀屋高
25	3	右翼手	原 田 泰 光	日本体育大学	2	群馬・高崎東

3. 参加大会

カーギナルストーナメント 1998年2月6・7・8日 於ウェリントン
ディーンシットーナメント 1998年2月13・14・15日 於オークランド

全日本大学ソフトボール連盟役員名簿
平成8・9・10年度

	氏 名	(上)自宅住所 (下)勤務先	電 話	FAX
会 長	大内 敬哉	〔自〕〒471豊田市栄町4-5-17	0565-33-1701	
		〔勤〕中京大学	0565-45-0971	0565-46-1297
副 会 長	一谷 宣宏	〔自〕〒651-21神戸市西区伊川谷有瀬77-3	078-974-6212	
		〔勤〕学校法人園田学園理事長・園田学園女子大学学長	06-427-7848	06-427-7250
副 会 長	水野 信義	〔自〕〒963郡山市久留米1-58-4	0249-45-3455	
		〔勤〕日本大学	0249-56-8600	0249-56-8864
副 会 長	斎藤 滋雄	〔自〕〒171東京都豊島区目白1-2-8-305	03-3983-4042	
		〔勤〕学習院大学	03-3971-8989	
顧 問	坂井 正郎	〔自〕〒214川崎市多摩区西生田5-14-21	044-966-7340	
		〔勤〕国士舘大学名誉教授・評議員	03-5996-3611	
顧 問	角田真一郎	〔自〕〒154東京都世田谷区豪徳寺2-19-16	03-3428-0150	
		〔勤〕		
顧 問	中平 順	〔自〕〒763丸亀市郡家町569-2	0877-28-5740	
		〔勤〕四国学院大学	0877-62-2111	
理 事 長	末井 健作	〔自〕〒678-01赤穂市北野中472-106	07914-8-8706	
		〔勤〕姫路工業大学	0792-66-1661	0792-66-8868
副理事長 常任理事	小川 幸三	〔自〕〒216川崎市宮前区神木本町3-1-13	044-865-7217	
		〔勤〕日本体育大学	03-5706-0925	03-5706-0912
常任理事	大和田 寛	〔自〕〒980仙台市青葉区川内大工町35	022-265-8778	
		〔勤〕仙台大学	0224-55-1121	0224-57-2769
常任理事	高橋 伸次	〔自〕〒370-12高崎市倉賀野町1274-13	0273-46-1219	
		〔勤〕高崎経済大学	0273-44-7517	0273-43-4830
常任理事	黒田 重靖	〔自〕〒930-02中新川郡立山町下米沢25	0764-63-1822	
		〔勤〕富山大学	0764-45-6819	0764-45-6819
常任理事	水谷 博	〔自〕〒464名古屋市中千種区星が丘元町15-23-A-405	052-782-5258	
		〔勤〕中京女子大学	0562-46-1291	0562-44-0310
常任理事	乾 多慶士	〔自〕〒669-14三田市木器1475	0795-69-0057	
		〔勤〕園田学園女子大学	06-429-1201	06-422-8523
常任理事	森田 啓之	〔自〕〒675-13小野市市郷町255アルパルクコート206	0794-62-4962	
		〔勤〕兵庫教育大学	0795-44-1101	0795-44-2189
常任理事	萩尾 健甫	〔自〕〒731-51広島市佐伯区海老園2-19-18	082-923-6899	
		〔勤〕広島修道大学	082-848-2121	082-848-2765
常任理事	川田 健司	〔自〕〒761高松市上之町2丁目7-5	0878-65-5974	
		〔勤〕徳島文理大学	0878-94-5111	0878-94-4545
常任理事	原口 和之	〔自〕〒811-02福岡市東区三苫3-15-9	092-606-7378	
		〔勤〕九州女子大学	093-693-3349	093-692-3245
事務局 長 事	中野 紀明	〔自〕〒229相模原市相原3-1-14	0427-73-9023	
		〔勤〕国士舘大学	0427-36-2324	0427-36-5481
理 事	小嶋 高良	〔自〕〒031八戸市沼館1-7-19	0178-45-7268	
		〔勤〕八戸工業大学	0178-25-3111	0178-25-2008

	氏 名	(上)自宅住所 (下)勤務先	電 話	FAX
理 事	飯島 隆	〔自〕〒020盛岡市上田1丁目16-3 〔勤〕盛岡大学	0196-23-7527 0196-88-5555	
理 事	松永 尚久	〔自〕〒257秦野市鶴巻南5-8-4-111 〔勤〕東海大学	0463-78-6323 0463-58-1211	0463-59-6180
理 事	武藤 幸政	〔自〕〒354埼玉県入間郡三芳町藤久保541-11 〔勤〕城西大学 ハイツみずほ台613号	0492-59-6994 0492-86-2233	0492-71-7985
理 事	岡田 万嗣	〔自〕〒400甲府市塩郡3-9-7 〔勤〕山梨学院大学	0552-52-8132 0552-24-1200	0552-24-1387
理 事	後藤 静夫	〔自〕〒229相模原市西大沼5-19-9 〔勤〕相模女子大学	0427-44-2304 0427-42-1411	0427-42-1441
理 事	青木 真	〔自〕〒943上越市南新町1-10-404 〔勤〕上越教育大学	0255-22-3624 0255-22-2411	
理 事	吉野みね子	〔自〕〒270-01流山市加867-1ハ・クサイトコート709 〔勤〕東京女子体育大学	0471-58-7766 0425-72-4131	0425-76-2397
理 事	馬場 哲雄	〔自〕〒154東京都世田谷区駒沢5-7-20 〔勤〕日本女子大学	03-3705-1217 03-3943-3131	
理 事	矢澤 久史	〔自〕〒504各務原市尾崎北町3丁目118-1 〔勤〕東海女子大学	0583-83-0485 0583-89-2200	0583-89-2205
理 事	山本 英弘	〔自〕〒481西春日井郡師崎町大字鹿田字神明附114-1 〔勤〕朝日大学	0568-21-2859 058-326-6131	058-329-1096
理 事	青井 誠	〔自〕〒463名古屋守山区城土355-1マンション城土501 〔勤〕名古屋明德短期大学	052-793-8879 052-601-6000	052-601-6010
理 事	久保田豊司	〔自〕〒534大阪市都島区中野町4-17-23 〔勤〕大阪国際女子大学	06-351-4828 06-902-0791	06-902-8894
理 事	中村 哲士	〔自〕〒658神戸市東灘区深江南町4-12-6-601 〔勤〕武庫川女子大学	078-413-1587 0798-47-1212	
理 事	但尾 哲哉	〔自〕〒572寝屋川市寿町44-3 〔勤〕神戸親和女子大学	0720-34-4545 078-591-1651	078-591-3113
理 事	逢坂 秀樹	〔自〕〒689-32西伯郡名和町豊成162-2 〔勤〕鳥取女子短期大学	0859-54-2473 0858-26-1811	
理 事	宮林 達也	〔自〕〒862熊本市長嶺町3058-28 〔勤〕熊本学園大学	096-381-7880 096-364-5161	
事務局長	吉末 和也	〔自〕〒547大阪市平野区瓜破東3-1-6-203 〔勤〕学校法人・園田学園	06-700-7151 06-427-7848	06-427-7250
評議員	浜野 茂	〔自〕〒193八王子市めじろ台2-2-B-102 〔大〕中央大学	0426-65-1725 0426-74-3469	0426-74-3471
評議員	笠見 敏広	〔自〕〒191日野市三沢362-1-C-105 〔大〕中央大学	0425-91-5340 0426-74-3469	0426-74-3471
評議員	河野 道弥	〔自〕〒191日野市三沢362-1-C-105 〔大〕淑徳短期大学		0492-59-1311 0492-59-1319

	氏 名	(上)自宅住所 (下)勤務先	電 話	FAX
評 議 員	中村 靖	〔自〕〒573-01枚方市尊延寺5-46-9 〔大〕関西外国語大学	0721-35-5428 0720-58-0021	
評 議 員	中村 浩	〔自〕〒584富田林市竜泉888 〔大〕大谷女子大学	06-351-4828 0721-24-0381	
評 議 員	松川 周二	〔自〕〒606京都市左京区高野竹屋町50-1ハ°レス洛北709号 〔大〕立命館大学	075-722-3110 075-461-9179	
評 議 員	市川 貢	〔自〕〒520大津市比叡平3-50-5 〔大〕京都産業大学	0775-29-0439 075-701-2151	
評 議 員	土倉 完爾	〔自〕〒565吹田市山田西2-8-A-3-204 〔大〕関西大学	06-876-6302 06-388-1121	
評 議 員	真来 省二	〔自〕〒662西宮市桜町1-40 〔大〕大阪府立大学	0798-71-5681 0722-52-1161	
評 議 員	西村 卓	〔自〕〒615京都市西京区桂芝ノ下町19-9 〔大〕同志社大学	075-381-0551 07746-5-7911	
評 議 員	平野 義明	〔自〕〒617長岡京市今里4-10-4 〔大〕大阪工業大学	075-951-2608 06-954-4274	
評 議 員	福光 賢祐	〔自〕〒779-32徳島県名西郡石井町石井1123-5 〔大〕徳島文理大学	0886-74-3196 0878-94-5111	
監 事	加藤 茂夫	〔自〕〒214川崎市多摩区南生田2-14-8 〔勤〕専修大学	044-954-7006 044-911-1225	044-911-1231
監 事	中村 恒雄	〔自〕〒581ハ歸神田4-41-3クレ・ルシヨトレ-201 〔勤〕PL学園女子短期大学	0729-95-1377 0721-24-5131	0721-25-9541

事 務 局	〒671-22 姫路市書写2167 姫路工業大学内	TEL 0792-66-1661 FAX 0792-66-8868 E-mail suei@gen.himeji-tech.ac.jp
-------	---------------------------	--

全日本大学ソフトボール連盟学生委員名簿
平成9年度

地 区	氏 名	(上)連絡先 (下)大学名	電 話	FAX
委員 長 京	安藤留美子	〔連〕 〒165東京都中野区若宮3-37-1 サン若宮3-37-1	03-3223-4065	
		〔大〕 早稲田大学	03-3203-4141	
副委員 長 京	鈴木 啓之	〔連〕 〒164東京都中野区中野6-23-14 パークハウス303	03-3371-9942	
		〔大〕 日本歯科大学	03-3261-8311	
副委員 長 東	大石 克了	〔連〕 〒259-12平塚市真田652-3第二諸星荘201	0463-59-8281	
		〔大〕 東海大学	0463-58-1211	
副委員 長 畿	川口 慎一	〔連〕 〒577東大阪市東上小坂8-2	06-724-1835	
		〔大〕 関西大学	06-388-1121	
副委員 長 畿	丸本佳代子	〔連〕 〒661尼崎市南塚口町7-23-17春帆寮	06-426-7187	
		〔大〕 園田学園女子大学	06-429-1201	
東 京	萱津百合子	〔連〕 〒359所沢市上新井116-5 レジデンス森野101	0429-28-6748	
		〔大〕 純心女子大学	0426-92-0326	
東 京	稲益 三穂	〔連〕 〒193八王子市四谷町1917-12共立ライオンズ四谷316-5	0426-28-2457	
		〔大〕 創価大学	0426-91-2211	
東 京	竹村 雪絵	〔連〕 〒181三鷹市牟礼5-11-23三光寮	0422-49-4979	
		〔大〕 日本女子体育大学	03-3300-2251	
関 東	吉田 浩司	〔連〕 〒370群馬県高崎市上並町90-5 インテリジェント	0273-62-5284	
		〔大〕 高崎経済大学	0273-44-7517	
関 東	檜原 靖	〔連〕 〒370-01群馬県佐波郡境町女塚98-6	0270-74-4654	
		〔大〕 高崎経済大学	0273-44-7517	
関 東	千葉 芳謙	〔連〕 〒402都留市田原3-9-17サンリットコーポ 101	0554-43-9195	
		〔大〕 都留文科大学	0554-43-4341	
関 東	横山 智彦	〔連〕 〒400甲府市国玉町1033MKハウス203	0552-23-4791	
		〔大〕 山梨学院大学	0552-24-1200	
北 信 越	武田 靖子	〔連〕 〒939-01富山県西礪波郡福岡町下老子704	0766-64-3271	
		〔大〕 富山大学	0764-41-1271	
東 海	木村 功二	〔連〕 〒470-03豊田市乙郷町大沢543敬王寮	0565-45-6542	
		〔大〕 中京大学	0565-45-0971	
東 海	田中 大輔	〔連〕 〒441豊橋市南小池町88-2第2北谷荘	0532-48-5889	
		〔大〕 愛知大学	0532-47-4118	
東 海	二ツ森美香	〔連〕 〒500岐阜市日野南7-5-6コテージ 東海南405号室	058-248-6903	
		〔大〕 東海女子大学	0583-89-2200	
東 海	泉 加奈子	〔連〕 474大府市横根町名高山133-4 磯村寮104	0562-48-8392	
		〔大〕 中京女子大学	0562-46-1291	
近 畿	田辺 伸也	〔連〕 〒565吹田市上山手町17-10摂津荘	06-387-8833-104	
		〔大〕 関西大学	06-388-1121	
近 畿	谷口 千枝	〔連〕 〒661尼崎市南塚口町7-23-17春帆寮	06-426-7187	
		〔大〕 園田学園女子大学	06-429-1201	
近 畿	樋下 美和	〔連〕 〒661尼崎市南塚口町7-23-17春帆寮	06-426-7187	
		〔大〕 園田学園女子大学	06-429-1201	

平成9年度 加盟大学一覧

(男子)

全日本大学ソフトボール連盟

地 区	数	加 盟 大 学 名
北海道・東北	10	八戸工業大学 仙台大学 盛岡大学 福島大学 東北大学 宮城教育大学 日本大学工学部 弘前大学 北里大学 八戸大学
関 東	21	都留文科大学 山梨学院大学 茨城大学 高崎経済大学 日本大学生物資源科学 部 群馬大学 芝浦工業大学 城西大学 獨協大学 千葉大学 東京理科大学 埼玉大学 東海大学 国際武道大学 筑波大学 明海大学 関東学園大学 流通経済大学 東京国際大学 文教大学 中央学院大学
北 信 越	7	長野大学 信州大学 富山大学 福井大学 富山国際大学 金沢大学 福井県立大学
東 京	25	日本体育大学 国士舘大学 早稲田大学 学習院大学 東京学芸大学 中央大学 東京大学 明治大学 東洋大学 慶應義塾大学 専修大学 日本歯科大学 立教 大学 東京経済大学 帝京大学 桜美林大学 日本大学 成蹊大学 杏林大学 武蔵工業大学 一橋大学 国際基督教大学 明星大学 東京農業大学 文教大学国際情報学部
東 海	15	中京大学 名古屋大学 愛知大学 愛知学院大学 南山大学 愛知教育大学 常葉学園大学 名城大学 聖徳学園岐阜教育大学 愛知学泉大学 静岡大学 岐阜経済大学 朝日大学 日本福祉大学 愛知みずほ大学
近 畿	26	京都産業大学 同志社大学 京都大学 関西大学 立命館大学 奈良教育大学 龍谷大学 大阪大学 仏教大学 大阪市立大学 桃山学院大学 神戸大学 大阪体育大学 関西学院大学 四天王寺国際仏教大学 大阪工業大学 甲南大学 大阪府立大学 和歌山大学 神戸学院大学 大阪経済法科大学 姫路工業大学 兵庫教育大学 京都学園大学 姫路獨協大学 近畿大学和歌山
中 国	12	広島修道大学 広島経済大学 広島大学 岡山大学 岡山理科大学 東亜大学 島根大学 広島工業大学 岡山商科大学 近畿大学 広島県立大学 鳥取大学
四 国	9	四国学院大学 香川大学 徳島大学 愛媛大学 松山大学 高知大学 四国大学 徳島文理大学 高松大学
九 州	24	福岡大学 九州産業大学 九州大学 西南学院大学 産業医科大学 熊本大学 第一経済大学 佐賀大学 九州東海大学 熊本学園大学 琉球大学 長崎大学 沖縄国際大学 日本文理大学 福岡工業大学 第一工業大学 大分医科大学 西日本工業大学 鹿児島経済大学 宮崎産業経営大学 鹿屋体育大学 長崎県立大学 久留米工業大学 名桜大学

(女子)		
地 区	数	加 盟 大 学 名
北海道・東北	6	仙台大学 盛岡大学 宮城教育大学 北海道女子短期大学 盛岡大学短期大学部 弘前大学
関 東	11	都留文科大学 文教大学 埼玉大学 相模女子大学 東海大学 千葉大学 筑波大学 日本大学生物資源科学部 新島学園女子短期大学 順天堂大学 淑徳大学
北 信 越	5	長野大学 信州大学 富山大学 金沢大学 上越教育大学
東 京	16	日本体育大学 東京女子体育大学 日本女子体育大学 東京学芸大学 中央大学 学習院大学 国士舘大学 早稲田大学 日本女子大学 桜美林大学 専修大学 日本大学 創価女子短期大学 創価大学 東京純心女子大学 津田塾大学
東 海	14	中京大学 中京女子大学 静岡大学 常葉学園大学 聖徳学園岐阜教育大学 南山大学 名古屋大学 愛知教育大学 愛知学泉大学 東海女子大学 愛知みずほ大学 豊田短期大学 名古屋明德短期大学 愛知県立看護大学
近 畿	20	園田学園女子大学 武庫川女子大学 立命館大学 大阪体育大学 神戸大学 龍谷大学 大阪国際女子大学 大谷女子大学 京都薬科大学 仏教大学 兵庫教育大学 大阪成蹊女子短期大学 神戸親和女子大学 奈良教育大学 P L学園女子短期大学 京都女子大学 関西外国語大学 大阪府立大学 同志社大学 四天王寺国際仏教大学
中 国	7	広島大学 岡山大学 岡山理科大学 鳥取女子短期大学 中国短期大学 島根大学 川崎医療福祉大学
四 国	7	四国学院大学 香川大学 徳島大学 松山東雲女子短期大学 高知大学 四国大学 徳島文理大学
九 州	4	福岡大学 九州女子大学 沖縄国際大学 熊本学園大学
男 子 149大学 女 子 90大学 合 計 239大学		

平成9年7月13日現在

————— 編 集 後 記 —————

1年間にどれほどの試合が行われているのであろうか。そしてその大部分が時の彼方に失われていく。それぞれの試合のなかに大きなドラマがあったはずだ。いや、1球1球に青春のすべてをかけた汗と涙のドラマがあったはずだ。それらをこのような形でしか残せないのは、本当にもどかしい。

機関誌発行のお話を大内会長と末井理事長からいただいたとき、果たして可能なのか大きな不安がありました。お引き受けしたのは、先のような思いがあったからですが、山本編集委員の熱意にも打たれました。幸い、全国の常任理事の先生方や学連委員のご協力を得て、ここに創刊することができました。改めて、関係各位に御礼申し上げます。

なお、全体的に見れば、表記の方法等に不統一が見られます。各地域の個性という側面もありますが、編集員の努力不足という面も認めなければなりません。また、スキャナーで直接原稿を読みとったために、一部美しさに欠ける印刷になってしまいました。次年度はもっと立派なものをお届けすることをお約束し、ご容赦いただきたく存じます。

創刊号は記録が中心になりましたが、次年度からはソフトボールに関する研究論文や学連らしく卒業論文など様々な情報を掲載して、充実を図っていきたいと思っています。いまから原稿のご用意をお願いいたします。

広報記録委員長 水谷 博（中京女子大学）

全日本大学ソフトボール連盟機関誌 ウインドミル 創刊号

1997年12月25日 発行 非売品
編集・発行 全日本大学ソフトボール連盟
代 表 者 大 内 敬 哉
編集責任者 水 谷 博 (E-mail mztn@chujo-u.ac.jp)
発 行 所 全日本大学ソフトボール連盟
〒671-2201 姫路市書写2167
姫路工業大学気付
FAX (0792) 66-8868
E-mail suei@gen.himeji-tech.ac.jp
印 刷 西濃印刷(株)
〒451-0073 名古屋市西区浄心本通3-45
TEL (052) 524-5611

I S S N 1 3 4 3 - 4 3 9 X



ダイナミックリーガー
グランステイタスSX



プロモデルオーダー



ゴードMJX



ゴードSJ

HEAT UP! SOFTBALL

熱いこだわりを、見てほしい。

スーパープレイを支えるZETTのソフトボールアイテム。そこには、プロフェッショナルとしての証がある。

熱いゲームが、
KENKOから
はじまる。



ケンコーソフトボール

(革製/3号球)

財日本ソフトボール協会検定球



健康コミュニティを創造する

ナガセケンコー株式会社

NAGASE KENKO CORPORATION



いま、**熱いドラマが始まる。**

白球が青空に舞う。音が消え時間が止まる。

おとずれるクライマックス。どよめきが起こり、

ためいきがもれる。

一球に笑い、一球に泣く、ホットなドラマ。

naigaiのボールは、永年の経験が
うみだす信頼のブランド。品質に対する情熱の
ドラマがいきづく一球です。

ガンバレ！白球ドラマの主人公たち。



NAIGAI SOFTBALL

(財)日本ソフトボール協会検定球 検定1号・2号・3号・皮製3号・14インチ



NAIGAI BASEBALL

(財)全日本軟式野球連盟公認球 A号・B号・C号・D号・H号

内外ゴム株式会社



ウインドミル No. 1 (1997)

I S S N 1 3 4 3 - 4 3 9 X